

平成 30 年度 業務実績報告書

令和元年 6 月



地方独立行政法人
岐阜県立多治見病院

I 法人の概要

1 法人の現況

(1) 法人名称 地方独立行政法人岐阜県立多治見病院

(2) 所在地 岐阜県多治見市前畠町5丁目161番地

(3) 設立年月日 平成22年4月1日

(4) 役員の状況

平成30年4月1日現在

	氏名	役職
理事長	近藤 泰三	院長
副理事長	松葉 英之	副院長兼事務局長
理事	上田 幸夫	副院長兼医療安全部参与
理事	竹田 明宏	副院長兼産婦人科部長
理事	伊藤 淳樹	副院長兼救命救急センター長
理事	柘植 容子	副院長兼看護部長
理事	加藤 智子	ヤマカ株代表取締役
理事	村瀬 登志夫	元多治見市教育委員会教育長
監事	小島 浩一	弁護士
監事	木村 太哉	公認会計士

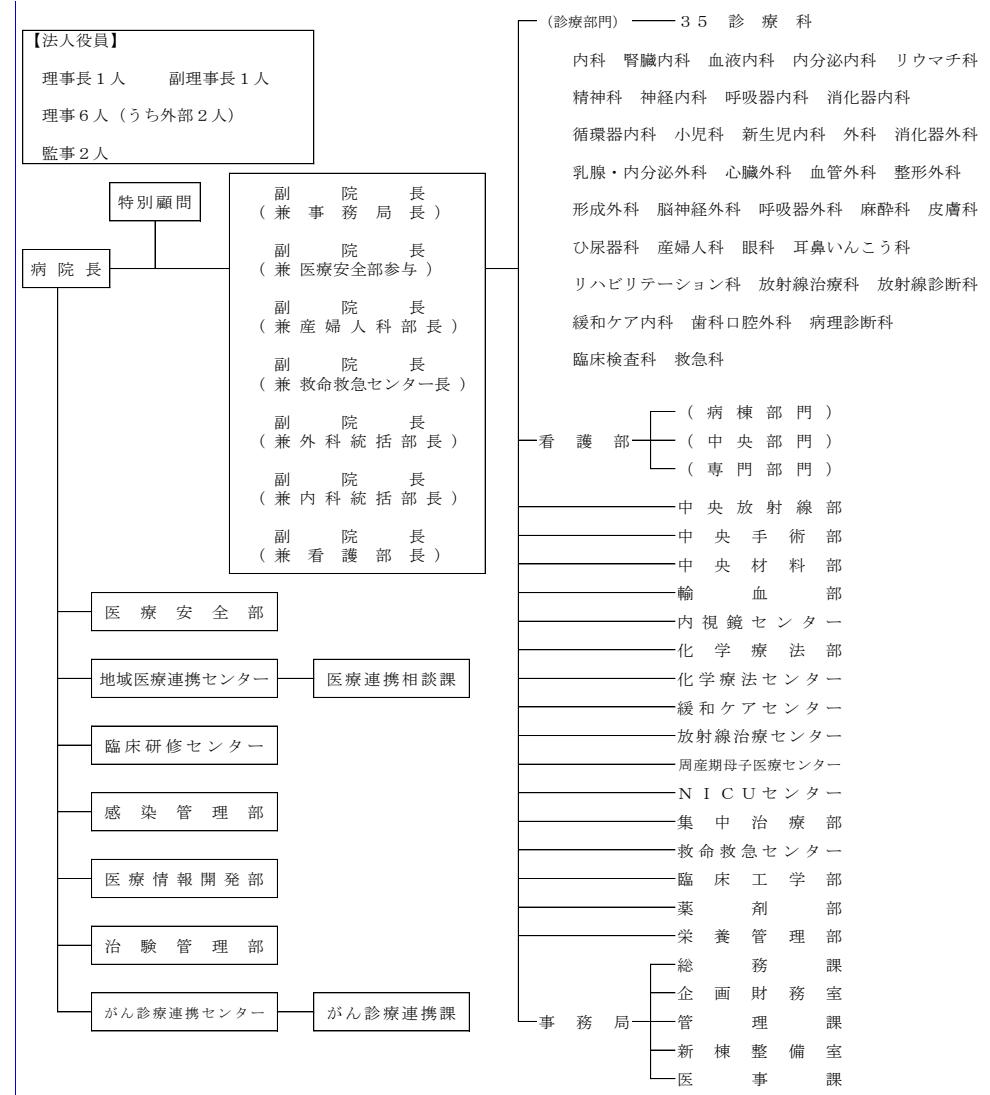
(5) 職員数(平成30年4月1日現在)

単位:人

職種	常勤	非常勤	合計
医師	133	24	157
看護師	496	112	608
コメディカル	175	12	187
事務等	59	155	214
合計	863	303	1,166

(6) 組織図

平成30年4月1日現在



2 法人の基本的な目標

(1) 中期目標の前文

地方独立行政法人岐阜県立多治見病院（以下「法人」という。）は、平成22年度の設立以降、県民が身近な地域でいつでも安心して良質な医療を享受できるように、地域の基幹病院として地域の医療水準の向上及び住民の健康増進に取り組んできた。

設立から平成26年度までの第1期中期目標期間中においては、理事長の強いリーダーシップの下、職員一丸となって診療機能の充実・強化及び経営改善を図り、目標としてきた質の高い医療サービスの効果的な提供に努め、高精度放射線治療システムの導入、経常収支比率100%の初年度からの達成など着実な成果をあげた。

一方、医療を取り巻く環境は、社会保障・税一体改革大綱（平成24年2月17日閣議決定）において、急性期をはじめとする医療機能の強化、病院・病床機能の役割分担・連携の推進、在宅医療の充実などに取り組み、団塊世代が75歳以上となる令和7年に向けて医療提供体制の再構築や地域包括ケアシステムの構築を図ることとされている。

このため、第2期中期目標期間においては、これらの医療制度や社会経済情勢の変化に迅速に対応するとともに、第1期中期目標期間の経営面・運営面における実績等を踏まえ、さらなる自律性・機動性・透明性の高い病院運営に努め、東濃地域の中核的な病院として地域全体の医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与していくことを強く求めるものである。

(2) その他法人の特徴として記載すべき事項

◆中央診療棟の建替えの推進

昭和56年及び59年に建てられた中央診療棟は30年以上を経過し、外来患者の増加による外来部門の狭隘化や手術室・カテーテル治療室の不足、設備（上水道など）老朽化などが深刻となってきており、また災害時の診療機能にも不安が大きいため、早急な対応が求められる。

地域の基幹病院として県民・地域住民に引き続き適切な医療環境を提供するため、中央診療棟の再整備を図る必要があり、平成27年度に基本構想を、平成28年度に基本計画を、平成30年6月に基本設計を策定した。今後、実施設計、本体建設と令和5年度の開院に向けて進めていく。

◆病床機能報告

県では、2次医療圏ごとの各医療機能の将来の必要量を含め、その地域にふさわしいバランスのとれた医療機能（高度急性期、急性期、回復期、慢性期）の分化と連携を適切に推進するための地域医療構想が策定された。

当院においても、当院の医療機能（高度急性期、急性期、慢性期）について病棟単位で現状と今後のあり方を検討し、東濃圏域における地域医療構想の具現化に参画する。

3 設置する病院の概要

(1) 病院名称 岐阜県立多治見病院

(2) 所在地 岐阜県多治見市前柳町5丁目161番地

(3) 沿革

年	月	概要
昭和14年	5月	県立多治見病院開設→診療開始 昭和14年9月8日
昭和33年	10月	医療法による「総合病院」の指定
昭和43年	2月	岐阜県知事から「救急病院」の指定
昭和56年	11月	診療本館（現 中央診療棟）一期工事完成
昭和59年	2月	診療本館（現 中央診療棟）二期工事完成
昭和63年	12月	MR1棟完成
平成2年	10月	新東病棟（現 東病棟）完成
平成14年	3月	（財）日本医療機能評価機構による病院機能評価（Ver. 5.0）の認定取得
平成18年	1月	電子カルテシステム導入
平成22年	3月	中・西病棟完成
〃	4月	地方独立行政法人に移行
〃	6月	緩和ケア病棟20床開設
平成24年	1月	（公財）日本医療機能評価機構による病院機能評価（Ver. 6.0）の認定取得
〃	5月	精神科病棟46床開設（再開）
平成25年	4月	高精度放射線治療センター稼働
平成28年	3月	卒後臨床研修評価機構の認定取得
〃	11月	病床数を575床へ変更（一般病床52床廃止）
平成29年	3月	（公財）日本医療機能評価機構による病院機能評価（3rdG:ver1.1）の認定取得
〃	4月	血液浄化センター稼働
平成30年	6月	自治体立優良病院総務大臣表彰受賞
平成31年	3月	新保育施設開設

(4) その他

基本理念	安全で、やさしく、あたたかく医療に努めます。
主な役割及び機能	東濃医療圏における基幹病院として、高度先進医療、急性期医療及び政策医療等の県民が必要とする医療の提供
重点医療	救命救急医療／周産期医療／がん医療／精神科医療・感染症医療／緩和ケア
診療科目	内科 腎臓内科 血液内科 内分泌内科 リウマチ科 精神科 神經内科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科 小児科 新生児内科 外科 消化器外科 乳腺・内分泌外科 心臓外科 血管外科 整形外科 形成外科 脳神経外科 呼吸器外科 麻酔科 皮膚科 ひ尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 リハビリテーション科 放射線治療科 放射線診断科 緩和ケア内科 歯科口腔外科 病理診断科 臨床検査科 救急科
病床数	575床（一般510床：結核13床：精神46床：感染症6床）
年間延べ患者数 (平成30年度)	入院：167,723人 外来：277,922人

II 全体的な状況

1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

1－1 診療事業

東濃地域の基幹病院として、近隣の医療機関等との役割分担・連携のもと、地域の限られた医療資源を有効活用し、良質かつ高度な医療を提供できるよう病床機能や規模、将来予測等をふまえ新中央診療棟整備の基本設計を策定、放射線治療装置を始めとした高度医療機器の計画的な整備、必要な職員の確保、職員のスキルアップ支援、院内研修の実施、チーム医療の推進、医療総合情報システム（電子カルテ）更新・稼働に向けた準備作業の進行、医療安全対策や院内感染防止対策の充実を図った。

患者・住民サービスの向上については、相談員の増員等による相談体制の充実や医療相談員のスキルアップに努める等、医療に関する相談体制の充実を図った。

患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映する場として、地域住民等と病院とで構成する「多治見病院運営協議会」を開催し、医療をめぐる状況と病院の方向性等についての意見交換をした。

患者サービスに努めた結果、日本病院会「Q Iプロジェクト」での患者満足度調査では、全国Q Iプロジェクト参加病院の中で高い満足度を得ることができた。

診療体制の充実については、開業医への訪問活動、健康づくり講座の開催、医療連携交流会の開催など地域医療連携センターが中心となって地域の医療ニーズを聴取し、連携予約体制や地域連携パスの運用方法の検討等を行った。

地域医療支援病院として、近隣病院との役割分担の明確化と連携強化により、患者紹介率、逆紹介率ともに高い水準を維持することができた。（紹介率75.1%、逆紹介率89.2%）

がん医療においては、2台目の高精度放射線治療装置（トゥルービーム）が平成30年4月から本格稼働を開始し、根治照射・予防照射・緩和照射等適応疾患を網羅しつつ、特徴を生かしたより先進的かつ効果的な放射線治療を提供した。また、救命救急医療、周産期医療、精神科医療・感染症医療などの政策医療、地域に不足している医療や県民が必要とする医療を提供するための取組みを積極的に推進した。

1－2 調査研究事業

臨床研究及び治験の推進を図っていくため、治験施設支援機関からの支援を得て、治験参加の有益性の啓発に努めた結果、新規で2件受託することができた。

また、提供する医療の質及び地域の医療水準の向上等を図るために、日本病院会「Q Iプロジェクト」、全国自治体病院協議会「医療の質の評価・公表等推進事業」に参加して、C I、Q Iデータについて分析をするとともに、年報やホームページ上の公表を継続して行った。また、その分析結果を院内へ報告、検討し、PDCAサイクルに基づいた医療の質向上に努めた。

国や県の行うがん登録事業に継続参加し、登録件数の増加に努めた。「がん登録システム」の活用により、データ精度が向上した。

1－3 教育研修事業

質の高い医療従事者を養成するため最新の医療技術や知識を習得できるよう国内外の学会や講習会への参加に必要な費用を負担し支援した。

管理的業務に従事する医師、看護師等を対象とした管理職員マネジメント研修を開催し、マネジメントや人材育成に関するスキルアップを図った。

内科領域及び外科領域においては、専攻医の専門研修プログラムの基幹施設として専攻医を募集し、内科領域で3名、外科領域で2名を採用した。

医学部生、看護学生等の実習を積極的に受け入れるなど、医療従事者の育成に努めた。看護学生については、実習スケジュールを調整するなど、積極的な受け入れを行い、実習の受け入れ者数が増加した。また、救急救命士に対する病院実習も積極的に実施し、医療技術の向上を支援した。

1－4 地域支援事業

国民健康保険上矢作病院、中津川市民病院、土岐市立総合病院へ医師を派遣するなど、医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援を継続した。

地域全体の医療水準の向上を目的に、近隣の病院や施設等へ医師、認定看護師や専門看護師、コメディカルを講師として派遣した。また、医療に関する鑑定調査、地域イベントに協力した。

地域医療機関や地域住民に対して、病院が保有する保健医療情報を提供するため、市民公開講座・緩和ケア市民公開講座や、医師、看護師等が公民館に出向く健康づくり講座などを行った。

1－5 災害等発生時における医療救護

河川水位上昇を想定した水害避難訓練や休日などを想定した消防訓練を実施して機能を検証したほか、災害拠点病院（平成23年10月に指定）として、災害発生時の医療資源の不足に伴い病院の重要な機能が低下した状況下において、当院としての非常時優先業務を必要な時間内に再開・継続及び開始するための基本方針、取り組み等を定めた診療継続計画書（BCP）を策定し、その試行的な災害医療実働訓練を行うなど、被災時における病院機能維持のための準備体制の確立に努めた。

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

効率的かつ効果的な組織体制の充実を図るため、管理課・新棟整備室の設置など組織・業務体制の見直しを行うとともに、IT化の推進、医療コンサルタントの活用を進めた。また、委託業務に関する評価システムにより、業務が契約内容に基づき適切に実施されているかの検証を引き続き実施し、改善や意識向上を図った。

新設した業務貢献手当の支給決定にあたっては、人事評価の仕組みを活用する等、人事評価結果と業務貢献手当支給を関連付けすることとしたため、職員個人・部門組織等の業務目標に対する達成意欲向上に繋がった。また、本格実施した人事評価制度において、新たに非常勤職員の勤務評価も行うこととし、非常勤職員の勤労意欲向上を促す仕組みを整えた。

事務部門の専門・階層別研修に関する方針・計画を作成し、外部講師等を活用した研修の実施や、公開講座に参加するなどして職員の資質向上を図った。また、階層別マネジメント研修として、管理職員及びチーフ級職員を対象とした研修を実施した。

診療報酬に直接関係のあるDPC機能評価係数を上げるために、DPCデータを基にした分析システムを活用し、病院の現状を明確化することによりDPC機能評価係数を上げることができ、経営向上、医療の質向上を図った。

未収金管理システムを活用するとともに、弁護士事務所への未収金回収委託を継続し、債権の徴収状況を定期的に把握しながら効果的な回収を進めた。

材料購入では、診療材料のベンチマークシステムや医療コンサルタントを活用し、医薬品、診療材料契約単価の価格交渉を効果的に行い、材料費の節減に努めた。

3 予算、収支計画及び資金計画

[収益] 平均在院日数の短縮などによる入院診療単価増により、昨年度と比べ医業収益において3.3%、収益全体でも3.6%（6.5億円）の増となった。計画に比べ医業収益において3.0%の増、収益全体でも3.1%（5.6億円）の増となった。

[費用] 材料購入における価格交渉や品目切り替え、後発医薬品の採用、多様な契約手法の導入などにより、昨年度と比べ医業費用で5.9%、全体で5.3%の増にとどまった。計画に比べ医業費用において3.3%の増、費用全体では4.1%（7.4億円）の増となった。

こうした業務運営の改善及び効率化により、単年度収支は2千5百万円の黒字となり、経常収支比率も100.2%となり、目標である100%以上を平成22年度の独立行政法人化から9年連続で達成した。職員給与費対医業収益比率は、目標の50%以下を少し上まわる52.5%となり、業務の効率化や医業収益の更なる増収を目指していくことが必要となつた。

経常収支比率 =	(営業収益+営業外収益) ÷ (営業費用+営業外費用) × 100
営業収益	18,689,888千円
営業外収益	135,041千円
営業費用	18,053,781千円
営業外費用	735,138千円

4 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

職員の就労環境の向上については、有給休暇の取得について、各部門長により計画的な取得を推進するとともに、ワークライフバランス休暇（特別休暇）を新設し休暇の取得促進を図った。また、職員食堂における特別メニュー、イベントメニューを企画する等福利厚生の充実に努めた。

職員の健康管理については、新規採用者のオリエンテーション時にメンタルヘルスについての研修の実施や、管理職、課長補佐級、チーフ級職員を対象としたメンタルヘルス講習会の実施とともに、前期定期健康診断とあわせて「ストレスチェック」を実施した。また、定期健康診断や人間ドックの確実な受診を促し、要精密検査等の指示のあった職員に対するフォローアップも行い、健康管理対策の充実に努めた。

新中央診療棟整備に伴う院内保育施設の建設を進め、平成31年3月に開設した。移転新築にあたっては、施設の定員を45名から60名に増員するとともに、企業主導型保育事業の院内保育施設として、企業主導型保育事業補助金（整備費及び運営費）の助成申請を行い、助成決定を受けた。夜間保育、休日保育等の利便性向上にも引き続き努めた。

医療機器整備については、新棟整備計画を踏まえ「緊急救度・移設性・収益性」などを総合的に勘案し整備を進めるため、高額医療機器（3,000万円以上の放射線機器・手術室機器等）について、医業経営コンサルタントのサポートを受けながら新規購入・更新の要望を取りまとめ、整備計画を策定した。

また、質の高い医療を提供するための新中央診療棟整備について、院内各部門ワーキングにおいて具体的な検討を重ね、平成30年6月に基本設計を策定した。また、医療総合情報システム（電子カルテ）の更新については、令和元（2019）年5月の稼働に向け、部門ヒアリングを基に仕様確認、運用確定等作業を進めるとともに、職員操作研修や外来全体リハーサル等を計画的に推進した。

法人が負担する債務の償還については、岐阜県に対する債務の償還を確実に実施した。

III 自己評価結果一覧表

項目	項目番号	自己評価	検証結果
1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組			
1－1 診療事業			
1－1－1 より質の高い医療の提供	01	IV	
1－1－2 患者・住民サービスの向上	02	III	
1－1－3 診療体制の充実	03	III	
1－1－4 近隣の医療機関等との役割分担及び連携	04	III	
1－1－5 重点的に取り組む医療	05	IV	
1－2 調査研究事業			
1－2－1 調査及び臨床研究等の推進	06	III	
1－2－2 診療情報等の活用	07	III	
1－3 教育研修事業			
1－3－1 医師の卒後臨床研修等の充実	08	III	
1－3－2 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施	09	IV	
1－4 地域支援事業			
1－4－1 地域医療への支援	10	III	
1－4－2 社会的な要請への協力	11	III	
1－4－3 保健医療情報の提供・発信	12	III	
1－5 災害等発生時における医療救護			
1－5－1 医療救護活動の拠点機能の充実	13	IV	
1－5－2 他県等の医療救護への協力	14	III	
1－5－3 被災時における病院機能維持のための準備体制の確立	15	IV	
1－5－4 新型インフルエンザ等発生時における役割の發揮	16	III	

項目	項目番号	自己評価	検証結果
2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組			
2－1 効率的な業務運営体制の確立			
2－1－1 効果的な組織体制の確立	17	III	
2－1－2 診療体制及び人員配置の弾力的運用	18	III	
2－1－3 人事評価システムの構築	19	III	
2－1－4 事務部門の専門性の向上	20	III	
2－1－5 コンプライアンスの徹底	21	III	
2－1－6 適切な情報管理	22	III	
2－2 業務運営の見直しや効率化による収支改善			
2－2－1 多様な契約手法の導入	23	IV	
2－2－2 収入の確保	24	III	
2－2－3 費用の削減	25	III	
3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画			
4 短期借入金の限度額			
5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画			
6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画			
7 剰余金の使途			
8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項			
8－1 職員の就労環境の向上	27	IV	
8－2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項	28	III	
8－3 施設・医療機器の整備に関する事項	29	IV	
8－4 法人が負担する債務の償還に関する事項	30	III	
8－5 積立金の使途	31	III	

IV 財務情報及び人員に関する情報

指標	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
経常収益(千円)	17,055,829	17,362,726	18,175,978	18,824,930	
経常費用(千円)	16,979,773	17,240,666	17,821,770	18,788,919	
経常利益(千円)	76,156	122,060	354,208	36,011	
従事人員数(人)	1,050	1,095	1,108	1,166	

V 項目別の状況

主な指標（3 予算（人件費の見積含む。）、収支計画及び資金計画）					
指標	達成目標（中期目標・中期計画）	(参考) 前中期目標最終年度値	27年度	28年度	29年度
			30年度	31年度	
経常収支比率	100%を超過	101.6%	100.5%	100.7%	102.0%
医業収支比率	100%を超過	101.5%	100.1%	100.7%	102.3%
職員給与費対医業収支比率	50%未満	50.6%	51.5%	51.7%	51.0%

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

中期目標	1-1 診療事業 東濃地域の基幹病院として、近隣の医療機関との役割分担・連携の下、高度・先進医療、急性期医療、政策医療等の県民が必要とする医療を提供する。
	<p>※ より質の高い医療の提供 法人が有する医師、看護師、コメディカル等や、先進かつ高度な医療機器といった人的・物的資源を有効に活用し、高度で専門的な医療に取り組むことで、県内医療水準の向上に努めること。 特に、医師、看護師、コメディカル等の優秀な医療スタッフの確保や各職種の専門性の向上を図るための教育研修の充実に努め、提供する医療水準の維持・向上を図ること。 また、個々の患者に最適な医療を選択し、より質の高い医療を提供するため、科学的な根拠に基づく医療の推進、クリニカルパスの推進、チーム医療体制の充実、メディカカードの導入などITの活用に努めること。 さらに、医療事故を未然に防ぎ、患者が安心して治療に専念できる安全・安心な医療と治療環境を提供できるよう、院内感染対策など医療安全対策を徹底すること。</p> <p>※ 患者・住民サービスの向上 来院から診察、検査、会計等に至る全てのサービスの待ち時間の改善、快適性及びプライバシー確保に配慮した院内環境の充実、インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進、医療に関する相談体制の充実など、病院が提供する全てのサービスについて患者の利便性の向上に努めること。 また、病院運営に関し、患者のみならず地域住民の意見を取り入れ、患者・住民サービスの向上を図ること。</p> <p>※ 診療体制の充実</p>

	<p>医療需要の質的・量的な変化や新たな医療課題に適切に対応するため、患者動向や医療需要の変化に即して診療部門の充実若しくは見直し又は専門外来の設置若しくは充実など診療体制の整備・充実を図ること。</p> <p>※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携</p> <p>近隣の医療機関等との役割分担を明確にし、病院・病床機能の分化・強化を図るとともに、地域連携クリティカルパスの活用など地域の医療機関との連携を充実・強化し、地域の実情に応じて東濃地域の基幹病院としての機能を引き続き發揮し、県民が求める医療を提供すること。</p> <p>また、救急医療コミュニティシステムを利用した医療画像等の患者情報の共有など他の医療機関との連携による医療提供の促進を図ること。</p> <p>さらに、円滑に在宅医療・療養へ移行するため、他の機関との連携を充実・強化し、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービス提供の促進を図ること。</p> <p>※ 重点的に取り組む医療</p> <p>高度・先進医療、急性期医療及び政策医療といった他の医療機関においては実施が困難ではあるものの県民が必要とする医療を重点的に実施すること。</p> <p>特に、「救命救急医療」、「周産期医療」、「がん医療」などの高度で先進的な医療及び「精神科医療」、「感染症医療」などの政策医療を重点医療として位置付け、提供すること。</p> <p>なお、がん医療については、地域がん診療連携拠点病院として、新たに整備した高精度放射線治療装置などによる先進治療に加え、地域の医療機関等との連携の推進により、緩和ケア病棟と在宅での一貫した緩和ケアが受けられる体制の充実を図ること。</p>
--	---

項目No.	中期計画の取組項目	H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																									
01	<p>※ より質の高い医療の提供</p> <p>1 高度医療機器の計画的な更新・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 高度・先進医療、急性期医療、政策医療等が提供できるよう病床機能や規模、将来予測等を踏まえた新中央診療棟整備に向けた基本設計を策定した。同時に新中央診療棟開院に向けた医療機器の整備について、各部署における医療機器の配備状況及び要望を把握するため、部門ヒアリングを実施した。部門ヒアリングの内容をもとに、整備のランク（優先順位）付けを行い、整備計画を策定した。また、要望があった医療機器の中から、緊急性や収益性など総合的に判断し、平成30年度中の整備が妥当であると判断された高度医療機器について、更新を行った。 平成29年6月に納入された高精度放射線治療装置（トゥルービーム）が、関係省庁等への許認可手続き、照射量や減衰などのデータ収集作業を経て、平成30年4月から稼働開始した。 <p>【更新・整備した主な機器】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th><th>整備目的・用途</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新生児搬送用保育器</td><td>東濃・可茂地域の消防署に搬送用保育器を予め配備しておくことで、より迅速な患者搬送と受入が可能となる。</td></tr> <tr> <td>血液ガス分析装置</td><td>院内の血液ガス分析装置を同一メーカーのものに更新し、新電子カルテシステムに接続することで、装置の一元管理が可能となり、精度管理が容易になる。</td></tr> </tbody> </table> <p>4 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進</p> <p>5 コメディカルに対する専門研修の実施</p> <p>6 E BMの推進</p>	機器名	整備目的・用途	新生児搬送用保育器	東濃・可茂地域の消防署に搬送用保育器を予め配備しておくことで、より迅速な患者搬送と受入が可能となる。	血液ガス分析装置	院内の血液ガス分析装置を同一メーカーのものに更新し、新電子カルテシステムに接続することで、装置の一元管理が可能となり、精度管理が容易になる。	<p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学医局との連携や代務医の招聘、医師の斡旋会社の活用により、麻酔科医等必要な医師の確保に努めた。看護師とその他のコメディカルについては、ガイダンスでの募集活動、学校訪問、地元紙・地域情報誌への求人広告掲載、ホームページでの募集活動、インターネットの求人サイトの活用、就職準備資金等の支援制度により、医療従事者の充実を行った。 <p>【医療従事者数】 単位：人 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td><td>124</td><td>118</td><td>123</td><td>126</td></tr> <tr> <td>看護師・助産師</td><td>463</td><td>474</td><td>472</td><td>484</td></tr> <tr> <td>コメディカル</td><td>149</td><td>154</td><td>167</td><td>173</td></tr> </tbody> </table> <p>4 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門性の高い看護師を養成するため、認定看護師等長期研修計画に基づき、認定看護師については、必要な研修への参加を支援することで、がん化学療法、皮膚・排泄ケア、透析看護、手術看護の分野で認定取得ができた。また、資格取得に向けた支援により、2人が糖尿病療養指導士の資格を取得できた。 がん専門看護師については、新たに1人が資格取得できるよう岐阜県立看護大学大学院への通学の支援を行った。 	区分＼年度	H27	H28	H29	H30	医師	124	118	123	126	看護師・助産師	463	474	472	484	コメディカル	149	154	167	173	IV	新中央診療棟整備に向けた基本設計の策定、高度医療機器の整備、医療安全や感染対策の体制整備が進捗したことにより、その他も継続的な取組が実施できており、項目全体で特に進捗していると評価
機器名	整備目的・用途																													
新生児搬送用保育器	東濃・可茂地域の消防署に搬送用保育器を予め配備しておくことで、より迅速な患者搬送と受入が可能となる。																													
血液ガス分析装置	院内の血液ガス分析装置を同一メーカーのものに更新し、新電子カルテシステムに接続することで、装置の一元管理が可能となり、精度管理が容易になる。																													
区分＼年度	H27	H28	H29	H30																										
医師	124	118	123	126																										
看護師・助産師	463	474	472	484																										
コメディカル	149	154	167	173																										

項目No.	中期計画の取組項目	H30 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																																																																																																							
	<p>7 専門性を發揮したチーム医療の推進</p> <p>8 メディカカードの導入などのITの活用</p> <p>9 医療安全対策の充実</p> <p>10 院内感染防止対策の確立</p>	<p>3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 岐阜県医師確保育成コンソーシアムの補助金を活用し、外部講師による講演・勉強会を実施した。(計8回実施) 研修医の資質向上に寄与するため、岐阜県医師確保育成コンソーシアムが岐阜大学で開催する臨床研修指導医講習会に6名が参加し、臨床研修指導医の確保に努めた。 内科領域及び外科領域における専門研修プログラムの基幹施設として、内科3名、外科2名を当院プログラムにて採用した。また、その他の診療科においても名古屋大学医学部附属病院が基幹施設となる専門研修プログラムの連携施設として、初期研修医が当院に在籍したまま後期研修が実施できる体制を整え、5名の専攻医が在籍となった。 昨年度に引き続き診療科マネジメント研修を、今年度は診療科医長級を対象に実施した。(計1回実施) <p>9 医療安全対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> インシデントレポートの集計、分析を行い、医療安全管理委員会において再発防止策を検討した。その検討結果に基づき管理会議、医局会、看護部安全対策委員会等で注意喚起、周知を図った。 コメディカル各部門の技師長、副技師長クラスを医療安全部への配置を継続し、カンファレンスや院内ラウンド、医療安全講演会の開催等を精力的に実施した。 今年度から、毎月第1月曜を「医療安全一斉点検の日」とし、全職員が医療安全に関する実践状況について自己チェックを行う仕組みを導入し、職員一人ひとりの安全意識の向上に努めた。 医療用麻薬の管理及び取扱い方法を徹底するため、院内共通マニュアルを整備したうえ、教育研修や周知徹底を図った。また、新たに医療用麻薬の管理状況等の確認に特化した院内ラウンド(毎月1回)を実施する等、全職員へ医療用麻薬に対する適正な管理を意識づけた。 <p>【インシデント・アクシデント件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td><td>3,765</td><td>3,273</td><td>3,474</td><td>3,344</td></tr> <tr> <td>アクシデント</td><td>30</td><td>14</td><td>23</td><td>27</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>3,795</td><td>3,287</td><td>3,497</td><td>3,371</td></tr> </tbody> </table>	区分＼年度	H27	H28	H29	H30	インシデント	3,765	3,273	3,474	3,344	アクシデント	30	14	23	27	合計	3,795	3,287	3,497	3,371	<p>【認定看護師・専門看護師数】 単位：人(各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>分野</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">認定</td><td>皮膚・排泄ケア</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>3</td></tr> <tr><td>集中ケア</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>緩和ケア</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>がん化学療法看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>がん性疼痛看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>感染管理</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td><td>2</td></tr> <tr><td>新生児集中ケア</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>摂食・嚥下障害看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>救急看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>慢性心不全看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>脳卒中リハビリテーション看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>糖尿病看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>認知症看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>訪問看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>手術看護</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>1</td></tr> <tr><td>透析看護</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>1</td></tr> <tr> <td align="center" colspan="2">小計</td><td>17</td><td>18</td><td>18</td><td>21</td></tr> <tr> <td rowspan="3">専門</td><td>がん看護</td><td>2</td><td>3</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>急性・救急看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>認定看護管理者</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> </tbody> </table> <p>5 コメディカルに対する専門研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 最新の高度医療に対応できる技術・知識のある職員を養成するため、学会、研修会等への参加や各種認定資格の取得、維持のため支援を行った。 <p>【資格取得・認定及び学会研修会等の参加状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th><th colspan="4">資格取得・認定件数(件)</th><th colspan="4">学会研修会等延べ参加者数(人)</th></tr> <tr> <th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>区分</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職種</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>薬剤師</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>3</td><td>参加</td><td>49</td><td>47</td><td>64</td><td>64</td></tr> </tbody> </table>	区分	分野	H27	H28	H29	H30	認定	皮膚・排泄ケア	2	2	2	3	集中ケア	2	2	2	2	緩和ケア	1	1	1	1	がん化学療法看護	1	1	1	2	がん性疼痛看護	1	1	1	1	感染管理	2	3	3	2	新生児集中ケア	1	1	1	1	摂食・嚥下障害看護	1	1	1	1	救急看護	1	1	1	1	慢性心不全看護	1	1	1	1	脳卒中リハビリテーション看護	1	1	1	1	糖尿病看護	1	1	1	1	認知症看護	1	1	1	1	訪問看護	1	1	1	1	手術看護	—	—	—	1	透析看護	—	—	—	1	小計		17	18	18	21	専門	がん看護	2	3	2	2	急性・救急看護	1	1	1	1	認定看護管理者	1	1	1	1	項目	資格取得・認定件数(件)				学会研修会等延べ参加者数(人)				H27	H28	H29	H30	区分	H27	H28	H29	H30	職種										薬剤師	1	1	1	3	参加	49	47	64	64		
区分＼年度	H27	H28	H29	H30																																																																																																																																																																								
インシデント	3,765	3,273	3,474	3,344																																																																																																																																																																								
アクシデント	30	14	23	27																																																																																																																																																																								
合計	3,795	3,287	3,497	3,371																																																																																																																																																																								
区分	分野	H27	H28	H29	H30																																																																																																																																																																							
認定	皮膚・排泄ケア	2	2	2	3																																																																																																																																																																							
	集中ケア	2	2	2	2																																																																																																																																																																							
	緩和ケア	1	1	1	1																																																																																																																																																																							
	がん化学療法看護	1	1	1	2																																																																																																																																																																							
	がん性疼痛看護	1	1	1	1																																																																																																																																																																							
	感染管理	2	3	3	2																																																																																																																																																																							
	新生児集中ケア	1	1	1	1																																																																																																																																																																							
	摂食・嚥下障害看護	1	1	1	1																																																																																																																																																																							
	救急看護	1	1	1	1																																																																																																																																																																							
	慢性心不全看護	1	1	1	1																																																																																																																																																																							
	脳卒中リハビリテーション看護	1	1	1	1																																																																																																																																																																							
	糖尿病看護	1	1	1	1																																																																																																																																																																							
	認知症看護	1	1	1	1																																																																																																																																																																							
	訪問看護	1	1	1	1																																																																																																																																																																							
	手術看護	—	—	—	1																																																																																																																																																																							
透析看護	—	—	—	1																																																																																																																																																																								
小計		17	18	18	21																																																																																																																																																																							
専門	がん看護	2	3	2	2																																																																																																																																																																							
	急性・救急看護	1	1	1	1																																																																																																																																																																							
	認定看護管理者	1	1	1	1																																																																																																																																																																							
項目	資格取得・認定件数(件)				学会研修会等延べ参加者数(人)																																																																																																																																																																							
	H27	H28	H29	H30	区分	H27	H28	H29	H30																																																																																																																																																																			
職種																																																																																																																																																																												
薬剤師	1	1	1	3	参加	49	47	64	64																																																																																																																																																																			

項目No.	中期計画の取組項目	H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																																																																																																																																									
	<p>【医療安全講演会開催実績】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ（開催日）</th><th>参加数</th><th>DVD研修会</th><th>参加率（%）</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取り扱いに特別な注意が必要な薬剤の事故防止に向けて(10/5)</td><td>600</td><td>481</td><td>96</td></tr> <tr> <td>弁護士から見た 医療紛争を未然に防ぐために(2/26)</td><td>561</td><td>526</td><td>97</td></tr> </tbody> </table> <p>※DVD研修会：参加率100%を目指すため実施</p> <p>10 院内感染防止対策の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 季節性インフルエンザの院内アウトブレイク対策として、12月から5段階のフェーズからなる警報レベルの管理を継続して実施した。1月には、東6病棟において、インフルエンザA型のアウトブレイクとなつたが、早期にICT（感染防止対策チーム：Infection Control Team）が介入し、全職員に対して、マスク着用、就業前の体温・体調確認を徹底させるとともに、該当病棟では、新規患者の入院、転入出の禁止、面会制限、ベットコントロールによるコホーティングを実施する等の対応により、それ以上、感染が拡大することなく終息した。 毎週、細菌検査室から院内分離菌情報の報告を受け、アウトブレイク等のリスク評価を実施した。10月にカルバペネム耐性綠膿菌が5例発見された際には、早期にICTが介入するとともに、監督官庁と情報共有等することにより感染拡大には至らず終息した。 感染対策講演会の企画開催、感染対策に関する新規情報や院内の活動状況を掲載したICT通信の発行、院内ラウンド等を通じ、職員への教育および啓発活動に努めた。 <p>【感染対策教育講演会開催実績】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ（開催日）</th><th>参加数</th><th>DVD研修会</th><th>参加率（%）</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・AST（抗菌薬適正使用支援チーム）活動について ・部署で取り組む感染対策(7/20)</td><td>613</td><td>512</td><td>100.0%</td></tr> <tr> <td>・AST活動報告</td><td>78</td><td>1,090</td><td>98.9%</td></tr> </tbody> </table>	テーマ（開催日）	参加数	DVD研修会	参加率（%）	取り扱いに特別な注意が必要な薬剤の事故防止に向けて(10/5)	600	481	96	弁護士から見た 医療紛争を未然に防ぐために(2/26)	561	526	97	テーマ（開催日）	参加数	DVD研修会	参加率（%）	・AST（抗菌薬適正使用支援チーム）活動について ・部署で取り組む感染対策(7/20)	613	512	100.0%	・AST活動報告	78	1,090	98.9%	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>発表</th><th>6</th><th>9</th><th>8</th><th>9</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放射線技師</td><td>12</td><td>15</td><td>9</td><td>9</td><td>参加</td><td>372</td><td>398</td><td>312</td><td>314</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>発表</td><td>27</td><td>33</td><td>25</td><td>20</td></tr> <tr> <td>臨床検査技師</td><td>6</td><td>2</td><td>7</td><td>6</td><td>参加</td><td>38</td><td>26</td><td>33</td><td>42</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>発表</td><td>5</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr> <td>臨床工学技士</td><td>4</td><td>1</td><td>4</td><td>1</td><td>参加</td><td>26</td><td>22</td><td>26</td><td>25</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>発表</td><td>7</td><td>6</td><td>7</td><td>3</td></tr> <tr> <td>リハビリ技師</td><td>2</td><td>4</td><td>2</td><td>3</td><td>参加</td><td>18</td><td>38</td><td>12</td><td>60</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>発表</td><td>2</td><td>1</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr> <td>看護栄養士</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td><td>2</td><td>参加</td><td>10</td><td>9</td><td>4</td><td>10</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>発表</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>25</td><td>23</td><td>25</td><td>24</td><td>参加</td><td>513</td><td>540</td><td>451</td><td>515</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>発表</td><td>48</td><td>52</td><td>47</td><td>39</td></tr> </tbody> </table> <p>6 EBMの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> クリニカルパス推進委員会から各診療科に対し、クリニカルパスの新設や使用率向上の働きかけを行った。各診療科が、クリニカルパスの新設と同時に不要なクリニカルパスの整理に取り組んだ結果、クリニカルパスの総数は減少したが、使用率は平成29年度を0.7ポイント上回る47.5%となった。 <p>【診療科別クリニカルパスの内訳】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>診療科名＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産婦人科</td><td>28</td><td>30</td><td>28</td><td>28</td></tr> <tr> <td>整形外科</td><td>36</td><td>43</td><td>14</td><td>15</td></tr> <tr> <td>呼吸器科</td><td>3</td><td>23</td><td>23</td><td>23</td></tr> <tr> <td>外科・消化器外科</td><td>26</td><td>27</td><td>15</td><td>22</td></tr> <tr> <td>循環器科</td><td>13</td><td>14</td><td>13</td><td>14</td></tr> <tr> <td>その他</td><td>102</td><td>102</td><td>137</td><td>121</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>208</td><td>239</td><td>230</td><td>223</td></tr> </tbody> </table> <p>【クリニカルパス利用率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>39.6%</td><td>42.8%</td><td>46.8%</td><td>47.5%</td></tr> </tbody> </table>						発表	6	9	8	9	放射線技師	12	15	9	9	参加	372	398	312	314						発表	27	33	25	20	臨床検査技師	6	2	7	6	参加	38	26	33	42						発表	5	2	2	2	臨床工学技士	4	1	4	1	参加	26	22	26	25						発表	7	6	7	3	リハビリ技師	2	4	2	3	参加	18	38	12	60						発表	2	1	4	4	看護栄養士	0	0	2	2	参加	10	9	4	10						発表	1	1	1	1	合 計	25	23	25	24	参加	513	540	451	515						発表	48	52	47	39	診療科名＼年度	H27	H28	H29	H30	産婦人科	28	30	28	28	整形外科	36	43	14	15	呼吸器科	3	23	23	23	外科・消化器外科	26	27	15	22	循環器科	13	14	13	14	その他	102	102	137	121	合 計	208	239	230	223	H27	H28	H29	H30	39.6%	42.8%	46.8%	47.5%		
テーマ（開催日）	参加数	DVD研修会	参加率（%）																																																																																																																																																																																																											
取り扱いに特別な注意が必要な薬剤の事故防止に向けて(10/5)	600	481	96																																																																																																																																																																																																											
弁護士から見た 医療紛争を未然に防ぐために(2/26)	561	526	97																																																																																																																																																																																																											
テーマ（開催日）	参加数	DVD研修会	参加率（%）																																																																																																																																																																																																											
・AST（抗菌薬適正使用支援チーム）活動について ・部署で取り組む感染対策(7/20)	613	512	100.0%																																																																																																																																																																																																											
・AST活動報告	78	1,090	98.9%																																																																																																																																																																																																											
					発表	6	9	8	9																																																																																																																																																																																																					
放射線技師	12	15	9	9	参加	372	398	312	314																																																																																																																																																																																																					
					発表	27	33	25	20																																																																																																																																																																																																					
臨床検査技師	6	2	7	6	参加	38	26	33	42																																																																																																																																																																																																					
					発表	5	2	2	2																																																																																																																																																																																																					
臨床工学技士	4	1	4	1	参加	26	22	26	25																																																																																																																																																																																																					
					発表	7	6	7	3																																																																																																																																																																																																					
リハビリ技師	2	4	2	3	参加	18	38	12	60																																																																																																																																																																																																					
					発表	2	1	4	4																																																																																																																																																																																																					
看護栄養士	0	0	2	2	参加	10	9	4	10																																																																																																																																																																																																					
					発表	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																					
合 計	25	23	25	24	参加	513	540	451	515																																																																																																																																																																																																					
					発表	48	52	47	39																																																																																																																																																																																																					
診療科名＼年度	H27	H28	H29	H30																																																																																																																																																																																																										
産婦人科	28	30	28	28																																																																																																																																																																																																										
整形外科	36	43	14	15																																																																																																																																																																																																										
呼吸器科	3	23	23	23																																																																																																																																																																																																										
外科・消化器外科	26	27	15	22																																																																																																																																																																																																										
循環器科	13	14	13	14																																																																																																																																																																																																										
その他	102	102	137	121																																																																																																																																																																																																										
合 計	208	239	230	223																																																																																																																																																																																																										
H27	H28	H29	H30																																																																																																																																																																																																											
39.6%	42.8%	46.8%	47.5%																																																																																																																																																																																																											

項目No.	中期計画の取組項目	H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況				その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																								
		<ul style="list-style-type: none"> ・ C D I (クロストリジウムディフィシル感染症)について (1/23) <p>※DVD研修会：参加率100%を目指すため実施 ※1/23 第2回講演会はインフルエンザ流行中のため、当日の参加者を縮小して開催した。</p>				<p>7 専門性を発揮したチーム医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ N S T (栄養サポートチーム)、R S T (呼吸ケアサポートチーム)、I C T (感染防止対策チーム)、精神科リエゾンチーム、褥瘡チーム、P C T (緩和ケアチーム)、糖尿病チーム、医療安全チーム、摂食嚥下チーム、口腔ケアチームによる活動を行った。 <p>8 メディカカードの導入などのITの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電子カルテ本体の更新について、令和元年5月からの稼働開始に向けた準備を計画的に進めた。部門ヒアリングを行い、それを基に新システムの仕様の確認と運用を確定した。その後、相乗りする部門システムとの接続確認、個別の操作研修及び全体リハーサル等を行った。 																																																																										
02	<p>※ 患者・住民サービスの向上</p> <p>1 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</p> <p>2 院内環境の快適性の向上</p> <p>3 医療に関する相談体制の充実</p> <p>4 患者中心の医療の提供</p> <p>5 インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進</p> <p>6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映</p>	<p>3 医療に関する相談体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 患者やその家族からの医療費支払いに関する各種福祉制度の活用や転院相談等の医療情報に関する医療相談の他に、受診診療科や病気などの様々な相談に対し、よろず相談・かかりつけ医紹介センターなどを活用した丁寧な相談体制で対応ができた。 ・ がん患者サロンの相談員を増員し、週5日（月～金曜日）の相談窓口対応が可能となり、相談件数が増加した。 ・ 岐阜県ソーシャルワーカー協会東濃支部主催の研修会（年5回開催）に参加し相談員のスキルアップを図った。また、肝炎コーディネーター関連の研修や、両立支援コーディネーター基礎研修への参加も積極的に行つた。 <p>【よろず相談・かかりつけ医紹介件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目＼年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>かかりつけ医への紹介</td> <td>251</td> <td>322</td> <td>423</td> <td>517</td> </tr> <tr> <td>よろず相談</td> <td>1,480</td> <td>1,129</td> <td>1,434</td> <td>1,804</td> </tr> </tbody> </table> <p>【医療相談件数】 单位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目＼年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療相談件数</td> <td>12,303</td> <td>14,597</td> <td>15,969</td> <td>17,605</td> </tr> <tr> <td>がん患者サロン（ほつとサロン）相談件数</td> <td>99</td> <td>55</td> <td>58</td> <td>228</td> </tr> </tbody> </table>	項目＼年度	H27	H28	H29	H30	かかりつけ医への紹介	251	322	423	517	よろず相談	1,480	1,129	1,434	1,804	項目＼年度	H27	H28	H29	H30	医療相談件数	12,303	14,597	15,969	17,605	がん患者サロン（ほつとサロン）相談件数	99	55	58	228	<p>1 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中央放射線及び生理検査について9～12月の4ヶ月間、待ち時間調査を実施した。全体的に予約枠内で検査が実施されており病院全体の平均待ち時間は21分と前年を上回る結果となった。 ・ 非常勤放射線技師を午後医療連携業務に専従させて、連携業務や医療機器訪問活動を実施した結果、C TやM R Iといった高度医療機器利用件数が増加した。 <p>【平均待ち時間】 単位：分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>22</td> <td>20</td> <td>17</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table> <p>※待ち時間は病院全体の時間</p> <p>【C T、M R I 検査件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分＼年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C T 件数</td> <td>29,355</td> <td>29,516</td> <td>32,872</td> <td>34,511</td> </tr> <tr> <td>M R I 件数</td> <td>9,862</td> <td>9,833</td> <td>10,208</td> <td>10,766</td> </tr> </tbody> </table> <p>【手術件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分＼年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術室</td> <td>4,969</td> <td>4,814</td> <td>4,933</td> <td>4,799</td> </tr> <tr> <td>中放内視鏡</td> <td>2,512</td> <td>2,471</td> <td>2,778</td> <td>2,858</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>7,481</td> <td>7,284</td> <td>7,711</td> <td>7,657</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H28	H29	H30		22	20	17	21	区分＼年度	H27	H28	H29	H30	C T 件数	29,355	29,516	32,872	34,511	M R I 件数	9,862	9,833	10,208	10,766	区分＼年度	H27	H28	H29	H30	手術室	4,969	4,814	4,933	4,799	中放内視鏡	2,512	2,471	2,778	2,858	合 計	7,481	7,284	7,711	7,657	III	相談員の増員等の相談体制の充実や医療相談員のスキルアップ等により相談件数の増加がみられたが、項目全体では、平年並みの実績と評価
項目＼年度	H27	H28	H29	H30																																																																												
かかりつけ医への紹介	251	322	423	517																																																																												
よろず相談	1,480	1,129	1,434	1,804																																																																												
項目＼年度	H27	H28	H29	H30																																																																												
医療相談件数	12,303	14,597	15,969	17,605																																																																												
がん患者サロン（ほつとサロン）相談件数	99	55	58	228																																																																												
	H27	H28	H29	H30																																																																												
	22	20	17	21																																																																												
区分＼年度	H27	H28	H29	H30																																																																												
C T 件数	29,355	29,516	32,872	34,511																																																																												
M R I 件数	9,862	9,833	10,208	10,766																																																																												
区分＼年度	H27	H28	H29	H30																																																																												
手術室	4,969	4,814	4,933	4,799																																																																												
中放内視鏡	2,512	2,471	2,778	2,858																																																																												
合 計	7,481	7,284	7,711	7,657																																																																												

項目No.	中期計画の取組項目	H30 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																							
		<p>【カルテ開示請求件数・開示件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td><td>64</td><td>57</td><td>61</td><td>48</td></tr> <tr> <td>開示件数</td><td>62</td><td>42</td><td>57</td><td>48</td></tr> </tbody> </table>	項目＼年度	H27	H28	H29	H30	請求件数	64	57	61	48	開示件数	62	42	57	48	<p>2 院内環境の快適性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 老朽化した東病棟の空調設備（エアハンドリング）修繕工事については、平成 28 年度から 5 カ年計画で実施している。平成 30 年度は、4 階部分の設備を更新し、院内環境の快適性を向上させた。 治療効果を高めるため、食事制限などのある患者の食事相談や指導をした。また、喫食量の低下した患者や低栄養の患者に対し、NSTが早期に介入し、多職種協同で栄養管理を行い、早期改善に努めた。毎食の残食調査、2ヶ月ごとの嗜好調査を実施し、献立・食材の変更、職員教育の徹底等の見直しに取り組んだ。その結果、嗜好調査で「満足・やや満足」と回答する割合が、平均 60%と前年度に比べて 9 ポイント（平成 29 年度平均 51%）上昇した。 <p>【喫食量の低下・低栄養患者への取り組み】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>栄養指導</td><td>4,552</td><td>5,164</td><td>5,113</td><td>4,171</td></tr> <tr> <td>栄養管理</td><td>2,017</td><td>1,044</td><td>2,140</td><td>2,927</td></tr> <tr> <td>NST介入</td><td>433</td><td>430</td><td>442</td><td>488</td></tr> </tbody> </table> <p>4 患者中心の医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者サポート体制カンファレンスを毎週 1 回開催し、医療相談、クレーム事例などから患者の意見・要望を把握し、医療安全活動と合わせ、患者の権利の保障について検討した。また、インシデント事例から、今後フォローが必要になりそうな患者について情報共有を行った。 患者図書室については、昼休みの開館、病棟への巡回図書サービス等に継続的に取り組んだ。 <p>【患者図書室利用実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数（単位：人）</td><td>10,552</td><td>9,830</td><td>8,836</td><td>9,402</td></tr> <tr> <td>稼働日数（単位：日）</td><td>242</td><td>242</td><td>243</td><td>245</td></tr> <tr> <td>1 日平均（単位：日）</td><td>43.6</td><td>40.6</td><td>36.4</td><td>38.4</td></tr> </tbody> </table>	項目＼年度	H27	H28	H29	H30	栄養指導	4,552	5,164	5,113	4,171	栄養管理	2,017	1,044	2,140	2,927	NST介入	433	430	442	488	区分＼年度	H27	H28	H29	H30	利用者数（単位：人）	10,552	9,830	8,836	9,402	稼働日数（単位：日）	242	242	243	245	1 日平均（単位：日）	43.6	40.6	36.4	38.4		
項目＼年度	H27	H28	H29	H30																																																								
請求件数	64	57	61	48																																																								
開示件数	62	42	57	48																																																								
項目＼年度	H27	H28	H29	H30																																																								
栄養指導	4,552	5,164	5,113	4,171																																																								
栄養管理	2,017	1,044	2,140	2,927																																																								
NST介入	433	430	442	488																																																								
区分＼年度	H27	H28	H29	H30																																																								
利用者数（単位：人）	10,552	9,830	8,836	9,402																																																								
稼働日数（単位：日）	242	242	243	245																																																								
1 日平均（単位：日）	43.6	40.6	36.4	38.4																																																								

項目No.	中期計画の取組項目	H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																															
			<p>5 インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度見直しを行った同意書と説明書に基づき、的確なインフォームド・コンセントを実施した。 セカンドオピニオンについては、受診希望者に対し、医療連携室が窓口となり一元的に対応し、引き続き迅速な予約体制を維持した。 <p>【セカンドオピニオン実施件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td><td>20</td><td>6</td><td>5</td><td>7</td></tr> <tr> <td>他院紹介</td><td>70</td><td>61</td><td>76</td><td>68</td></tr> </tbody> </table> <p>6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民等と病院とで構成する「多治見病院運営協議会」を開催し、病院施設の整備（新中央診療棟、立体駐車場、保育所建設）、防災対策等をテーマに意見交換を行った。 患者サービスに努めた結果、日本病院会「Q I プロジェクト」での患者満足度調査では、全国Q I プロジェクト参加病院の中では高い満足度を得ることができた。 <p>【満足度調査の比較】 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th><th rowspan="2"></th><th colspan="4">満足度</th></tr> <tr> <th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">入院</td><td>当院</td><td>95.6</td><td>98.1</td><td>95.5</td><td>96.4</td></tr> <tr> <td>Q I プロジェクト参加病院（平均値）</td><td>89.3</td><td>89.1</td><td>89.9</td><td>89.3</td></tr> <tr> <td rowspan="2">外来</td><td>当院</td><td>87.2</td><td>87.7</td><td>87.2</td><td>87.9</td></tr> <tr> <td>Q I プロジェクト参加病院（平均値）</td><td>81.7</td><td>83.0</td><td>82.5</td><td>82.5</td></tr> </tbody> </table> <p>※ Q I プロジェクトデータを全て引用</p>	区分＼年度	H27	H28	H29	H30	外来受入	20	6	5	7	他院紹介	70	61	76	68			満足度				H27	H28	H29	H30	入院	当院	95.6	98.1	95.5	96.4	Q I プロジェクト参加病院（平均値）	89.3	89.1	89.9	89.3	外来	当院	87.2	87.7	87.2	87.9	Q I プロジェクト参加病院（平均値）	81.7	83.0	82.5	82.5		
区分＼年度	H27	H28	H29	H30																																																
外来受入	20	6	5	7																																																
他院紹介	70	61	76	68																																																
		満足度																																																		
		H27	H28	H29	H30																																															
入院	当院	95.6	98.1	95.5	96.4																																															
	Q I プロジェクト参加病院（平均値）	89.3	89.1	89.9	89.3																																															
外来	当院	87.2	87.7	87.2	87.9																																															
	Q I プロジェクト参加病院（平均値）	81.7	83.0	82.5	82.5																																															
03	※ 診療体制の充実 1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体	2 多様な専門職の積極的な活用 <ul style="list-style-type: none">再雇用制度を活用し、定年を迎えた高い専門性を有する職員を再雇用し、安定的な診療体制の充実を図った。（看護師5名、臨床検査技師2名、理学療法士1名、臨床工学士1名、延べ9名を再雇用）	1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実 <ul style="list-style-type: none">地域医療連携センターが中心となり、開業医への訪問活動、地域医療連携推進協議会、可児・東濃地域病病連携推進会議、地域連携クリニカルパス合同委員会、健康づくり講座等に取り組んだ。	III	介護福祉士等を採用し、病棟の看護業務軽減に努める等、多彩な専門職を活用し診療体																																															

項目No.	中期計画の取組項目	H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																									
	<p>制の整備・充実</p> <p>2 多様な専門職の積極的な活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> 看護師の業務負担軽減のため、非常勤で新たに介護福祉士6名とヘルパー10名を採用し、病棟に配置した。 事務職員として2名の情報システム経験者を採用し、システム管理担当に配置した。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり講座を21回開催し、医療連携交流会（講演会及び開業医と当院医師の意見交換会）を開催した。これらの活動を通じ、地域の医療ニーズを聴取り、院内関係部門と情報を共有するとともに連携予約体制や地域連携バスの運用方法の検討等を行い診療体制の充実を図った。 <p>【連携予約状況】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分＼年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>整形外科</td> <td>1,019</td> <td>1,217</td> <td>1,213</td> <td>1,247</td> </tr> <tr> <td>神経内科</td> <td>871</td> <td>880</td> <td>818</td> <td>870</td> </tr> <tr> <td>消化器内科</td> <td>1,738</td> <td>1,675</td> <td>1,715</td> <td>1,922</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>9,604</td> <td>10,028</td> <td>10,732</td> <td>11,115</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>13,232</td> <td>13,800</td> <td>14,478</td> <td>15,154</td> </tr> </tbody> </table> <p>【訪問活動・健康づくり講座】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分＼年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問活動 (件)</td> <td>44</td> <td>17</td> <td>100</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>健康づくり講座 (回)</td> <td>12</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table> <p>【医療連携交流会】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分＼年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>院外参加者数</td> <td>35</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>院内参加者数</td> <td>40</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>75</td> <td>118</td> </tr> </tbody> </table>	区分＼年度	H27	H28	H29	H30	整形外科	1,019	1,217	1,213	1,247	神経内科	871	880	818	870	消化器内科	1,738	1,675	1,715	1,922	その他	9,604	10,028	10,732	11,115	合 計	13,232	13,800	14,478	15,154	区分＼年度	H27	H28	H29	H30	訪問活動 (件)	44	17	100	20	健康づくり講座 (回)	12	15	20	21	区分＼年度	H29	H30	院外参加者数	35	68	院内参加者数	40	50	合 計	75	118		制の充実への取組はみられるものの、項目全体では、平年並みの実績と評価
区分＼年度	H27	H28	H29	H30																																																										
整形外科	1,019	1,217	1,213	1,247																																																										
神経内科	871	880	818	870																																																										
消化器内科	1,738	1,675	1,715	1,922																																																										
その他	9,604	10,028	10,732	11,115																																																										
合 計	13,232	13,800	14,478	15,154																																																										
区分＼年度	H27	H28	H29	H30																																																										
訪問活動 (件)	44	17	100	20																																																										
健康づくり講座 (回)	12	15	20	21																																																										
区分＼年度	H29	H30																																																												
院外参加者数	35	68																																																												
院内参加者数	40	50																																																												
合 計	75	118																																																												

項目No.	中期計画の取組項目	H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																																																				
04	<p>※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携</p> <p>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化</p> <p>2 地域連携クリティカルパスの整備普及</p> <p>3 救急医療コミュニティシステム等の活用</p> <p>4 地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する連携強化</p>	<p>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域医療機関向けの講演会や、市民向けの健康づくり講座、医療連携交流会を通じて、近隣病院との役割分担の明確化と連携強化を図った。また、多治見シャトル（かかりつけ医へ患者の診療予定日をお知らせする仕組み）については、訪問活動時等におけるPR活動により、利用件数が増加した。これらの取り組みにより、患者紹介率、逆紹介率ともに高い水準を維持することができ、地域医療支援病院としての要件を満たした。 外来待ち合いスペースに設置してある「医療連携登録医情報コーナー」を活用し登録医の情報を提供するとともに、地域の医療機関を検索可能な専用端末を常設し、患者が地域の登録医を手軽に検索できるようになっている。 <p>【多治見シャトル利用】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>702</td><td>1,082</td><td>1,626</td><td>2,043</td></tr> </tbody> </table> <p>【紹介患者のうち医療連携予約の割合】 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>58.8</td><td>61.2</td><td>63.7</td><td>67.0</td></tr> </tbody> </table> <p>【紹介率・逆紹介率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率 (単位：%)</td><td>65.7</td><td>75.7</td><td>76.2</td><td>75.1</td></tr> <tr> <td>紹介実件数 (単位：件)</td><td>22,506</td><td>22,553</td><td>22,651</td><td>22,632</td></tr> <tr> <td>逆紹介率 (単位：%)</td><td>77.3</td><td>86.2</td><td>88.0</td><td>89.2</td></tr> <tr> <td>逆紹介実件数 (単位：件)</td><td>17,796</td><td>17,325</td><td>17,437</td><td>18,246</td></tr> </tbody> </table> <p>【高度医療機器利用状況】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C T</td><td>762</td><td>887</td><td>924</td><td>892</td></tr> <tr> <td>MR I</td><td>628</td><td>580</td><td>666</td><td>612</td></tr> <tr> <td>R I</td><td>137</td><td>128</td><td>128</td><td>130</td></tr> <tr> <td>P E T</td><td>60</td><td>57</td><td>58</td><td>39</td></tr> </tbody> </table>	H27	H28	H29	H30	702	1,082	1,626	2,043	H27	H28	H29	H30	58.8	61.2	63.7	67.0	区分＼年度	H27	H28	H29	H30	紹介率 (単位：%)	65.7	75.7	76.2	75.1	紹介実件数 (単位：件)	22,506	22,553	22,651	22,632	逆紹介率 (単位：%)	77.3	86.2	88.0	89.2	逆紹介実件数 (単位：件)	17,796	17,325	17,437	18,246	機器名＼年度	H27	H28	H29	H30	C T	762	887	924	892	MR I	628	580	666	612	R I	137	128	128	130	P E T	60	57	58	39	<p>2 地域連携クリティカルパスの整備普及</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域連携クリニカルパス（大腿骨頸部骨折、脳卒中、5大がん、狭心症・心筋梗塞、糖尿病）の運用促進のため、地域医療連携推進協議会（年4回）や医療連携交流会（講演会及び意見交換）を開催し、医師会、行政機関等との連携を強化した。また、地域連携クリニカルパスの登録医、関係機関との合同委員会（カンファレンス）を年3回開催し、運用上の問題点や意見を集めし、運用の見直しを行った。 <p>【地域連携パス運用実績】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パス名＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大腿骨頸部骨折</td><td>100</td><td>100</td><td>115</td><td>101</td></tr> <tr> <td>脳卒中</td><td>222</td><td>263</td><td>247</td><td>267</td></tr> <tr> <td>5大がん</td><td>22</td><td>30</td><td>12</td><td>16</td></tr> <tr> <td>狭心症・心筋梗塞</td><td>117</td><td>92</td><td>65</td><td>25</td></tr> <tr> <td>糖尿病</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>461</td><td>485</td><td>439</td><td>409</td></tr> </tbody> </table> <p>【共同指導・連携指導の実績】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>退院時共同指導実績</td><td>112</td><td>90</td><td>129</td><td>171</td></tr> <tr> <td>介護支援連携指導</td><td>231</td><td>187</td><td>184</td><td>371</td></tr> </tbody> </table> <p>3 救急医療コミュニティシステム等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療総合情報システム（電子カルテ）更新後にも「ぎふ清流ネット」とのデータ連携ができるようにシステム設計を行った。（年度末時点の登録施設数：14施設） <p>4 地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 退院前に医師、看護師、地域のケアマネージャーを交えた合同カンファレンスを開催し、地域との連携を強化するとともに、安全・安楽に在宅療養できるよう支援を行った。 毎週木曜日に退院支援看護師と医療相談員でカンファレンスを実施し情報の共有化を図り担当間の連携を密にし、円滑な退院支援に努め 	パス名＼年度	H27	H28	H29	H30	大腿骨頸部骨折	100	100	115	101	脳卒中	222	263	247	267	5大がん	22	30	12	16	狭心症・心筋梗塞	117	92	65	25	糖尿病	0	0	0	0	合 計	461	485	439	409	項目＼年度	H27	H28	H29	H30	退院時共同指導実績	112	90	129	171	介護支援連携指導	231	187	184	371	III	開業医への訪問活動、健康づくり講座、医療連携交流会等の継続的な取組による成果が各実績に表れているが、項目全体では、平年並みの実績と評価
H27	H28	H29	H30																																																																																																																						
702	1,082	1,626	2,043																																																																																																																						
H27	H28	H29	H30																																																																																																																						
58.8	61.2	63.7	67.0																																																																																																																						
区分＼年度	H27	H28	H29	H30																																																																																																																					
紹介率 (単位：%)	65.7	75.7	76.2	75.1																																																																																																																					
紹介実件数 (単位：件)	22,506	22,553	22,651	22,632																																																																																																																					
逆紹介率 (単位：%)	77.3	86.2	88.0	89.2																																																																																																																					
逆紹介実件数 (単位：件)	17,796	17,325	17,437	18,246																																																																																																																					
機器名＼年度	H27	H28	H29	H30																																																																																																																					
C T	762	887	924	892																																																																																																																					
MR I	628	580	666	612																																																																																																																					
R I	137	128	128	130																																																																																																																					
P E T	60	57	58	39																																																																																																																					
パス名＼年度	H27	H28	H29	H30																																																																																																																					
大腿骨頸部骨折	100	100	115	101																																																																																																																					
脳卒中	222	263	247	267																																																																																																																					
5大がん	22	30	12	16																																																																																																																					
狭心症・心筋梗塞	117	92	65	25																																																																																																																					
糖尿病	0	0	0	0																																																																																																																					
合 計	461	485	439	409																																																																																																																					
項目＼年度	H27	H28	H29	H30																																																																																																																					
退院時共同指導実績	112	90	129	171																																																																																																																					
介護支援連携指導	231	187	184	371																																																																																																																					

項目No.	中期計画の取組項目	H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況					その他の主な取組／課題及びその改善策(●)					自己評価	自己評価理由																																							
		骨密度	46	63	66	76																																														
		合 計	1,633	1,715	1,842	1,749																																														
		<p>【開放型病床利用】</p> <p>単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医科</td><td>13</td><td>21</td><td>50</td><td>26</td></tr> <tr> <td>歯科</td><td>26</td><td>22</td><td>24</td><td>24</td></tr> </tbody> </table>					区分＼年度	H27	H28	H29	H30	医科	13	21	50	26	歯科	26	22	24	24																															
区分＼年度	H27	H28	H29	H30																																																
医科	13	21	50	26																																																
歯科	26	22	24	24																																																
							た。																																													
		<ul style="list-style-type: none"> 適切な退院、転院を進めるために、医療機関や介護・福祉機関を継続的に訪問し、在宅復帰率 75%以上を達成し在宅復帰率の安定的な維持を図った。 																																																		
		<p>【在宅復帰率】</p> <p>単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td>87.47</td><td>86.50</td><td>87.3</td><td>92.1</td></tr> </tbody> </table>						H27	H28	H29	H30		87.47	86.50	87.3	92.1																																				
	H27	H28	H29	H30																																																
	87.47	86.50	87.3	92.1																																																
		<p>【相談対応件数】</p> <p>単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td>12,303</td><td>14,597</td><td>15,969</td><td>17,605</td></tr> </tbody> </table>						H27	H28	H29	H30		12,303	14,597	15,969	17,605																																				
	H27	H28	H29	H30																																																
	12,303	14,597	15,969	17,605																																																
		<p>【合同カンファレンスの実績】</p> <p>単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td>231</td><td>277</td><td>313</td><td>386</td></tr> </tbody> </table>						H27	H28	H29	H30		231	277	313	386																																				
	H27	H28	H29	H30																																																
	231	277	313	386																																																
05	※ 重点的に取り組む医療 1 救命救急医療 2 周産期医療 3 がん医療 4 精神科医療・感染症医療 5 緩和ケア	<p>3 がん医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年6月に納入された高精度放射線治療装置（トゥルービーム）が、関係省庁等への許認可手続き、照射量や減衰などのデータ収集作業を経て、平成30年4月から稼働を開始し、高精度放射線治療装置（ノバリストx）との2台稼働により、根治照射・予防照射・緩和照射等適応疾患を網羅しつつ、特徴を生かしたより先進的かつ効果的な放射線治療の提供に努めた。 放射線治療品質管理委員会を開催（年2回）し、放射線治療の現状・品質管理などについて検討を行った。 化学療法センターを20床から24床に拡張整備したこと、外来化学療法件数も増加する等、地域がん診療連携拠点病院として先進治療の実施に努めた。 県内統一のがん地域連携クリニカルパスについてパスコーディネーターを中心に適用患者の増進に努めた。 <p>【がん患者等の状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数（単位：人）</td><td>2,622</td><td>2,695</td><td>2,805</td><td>3,060</td></tr> <tr> <td>外来患者数（単位：人）</td><td>1,496</td><td>1,675</td><td>1,877</td><td>1,848</td></tr> <tr> <td>手術件数</td><td>1,108</td><td>1,121</td><td>1,108</td><td>1,066</td></tr> </tbody> </table>					項目＼年度	H27	H28	H29	H30	入院患者数（単位：人）	2,622	2,695	2,805	3,060	外来患者数（単位：人）	1,496	1,675	1,877	1,848	手術件数	1,108	1,121	1,108	1,066	1 救命救急医療					IV	高精度放射線治療装置の増設や化学療法センターの整備等によりがん治療件数が増加する等のがん治療体制の整備に関する取組を評価																			
項目＼年度	H27	H28	H29	H30																																																
入院患者数（単位：人）	2,622	2,695	2,805	3,060																																																
外来患者数（単位：人）	1,496	1,675	1,877	1,848																																																
手術件数	1,108	1,121	1,108	1,066																																																
		<ul style="list-style-type: none"> 麻酔科医師不足という状況の中、救命救急センターと各診療科の緊密な連携、協力のもと救命救急医療体制の維持確保に努めた。また急性期心臓血管疾患に対応するため専門医を10名（平成29年度と同数）配置した。 救急受診後の患者診療体制として、翌日等に対象診療科に受診できるER診療枠の運用を継続し、診療体制の維持に努めた。 																																																		
		<p>【救命救急センター受入実績（延患者数及び病床利用率）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> <tr> <th>項目</th><th>延患者数（人）</th><th>病床利用率（%）</th><th>延患者数（人）</th><th>病床利用率（%）</th><th>延患者数（人）</th><th>病床利用率（%）</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ICU</td><td>1,539</td><td>52.7</td><td>1,440</td><td>49.3</td><td>1,526</td><td>52.3</td></tr> <tr> <td>CCU</td><td>844</td><td>77.1</td><td>907</td><td>82.8</td><td>864</td><td>78.9</td></tr> <tr> <td>HCU</td><td>1,678</td><td>51.1</td><td>1,688</td><td>51.4</td><td>1,585</td><td>48.2</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>4,061</td><td>55.6</td><td>4,035</td><td>55.3</td><td>3,975</td><td>54.5</td></tr> </tbody> </table>					年度	H28	H29	H30	項目	延患者数（人）	病床利用率（%）	延患者数（人）	病床利用率（%）	延患者数（人）	病床利用率（%）	ICU	1,539	52.7	1,440	49.3	1,526	52.3	CCU	844	77.1	907	82.8	864	78.9	HCU	1,678	51.1	1,688	51.4	1,585	48.2	合計	4,061	55.6	4,035	55.3	3,975	54.5							
年度	H28	H29	H30																																																	
項目	延患者数（人）	病床利用率（%）	延患者数（人）	病床利用率（%）	延患者数（人）	病床利用率（%）																																														
ICU	1,539	52.7	1,440	49.3	1,526	52.3																																														
CCU	844	77.1	907	82.8	864	78.9																																														
HCU	1,678	51.1	1,688	51.4	1,585	48.2																																														
合計	4,061	55.6	4,035	55.3	3,975	54.5																																														
		<p>【救急車両受入台数】</p> <p>単位：台</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入台数</td><td>4,933</td><td>4,678</td><td>4,973</td><td>5,082</td></tr> <tr> <td>一日平均台数</td><td>13.5</td><td>12.8</td><td>13.6</td><td>13.9</td></tr> </tbody> </table>					区分＼年度	H27	H28	H29	H30	受入台数	4,933	4,678	4,973	5,082	一日平均台数	13.5	12.8	13.6	13.9																															
区分＼年度	H27	H28	H29	H30																																																
受入台数	4,933	4,678	4,973	5,082																																																
一日平均台数	13.5	12.8	13.6	13.9																																																

項目No.	中期計画の取組項目	H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況					その他の主な取組／課題及びその改善策(●)					自己評価	自己評価理由			
		化学療法件数	入院	1,272	1,824	1,510	1,433									
		外来	11,894	11,403	11,610	11,842										
		放射線治療施行回数	入院	3,031	2,958	2,853	3,169									
		外来	5,429	4,864	5,185	5,825										
		【がんパス件数】 H27 H28 H29 H30 22 30 12 16					【心臓血管手術症例数】 区分＼年度 H27 H28 H29 H30 虚血性心疾患 28 25 36 42 弁膜症 31 29 37 37 大動脈 34 47 53 45 その他 17 81 92 84 合 計 110 182 218 208					【手術・検査件数】 区分＼年 H27 H28 H29 H30 心カテ 976 981 1,022 1,069 PCI※ 380 385 443 361				
		【高精度放射線治療システム（ノバリスTx・トゥルービーム）】 項目＼年度 H27 H28 H29 H30 患者数（単位：人） 264 307 344 471 強度変調放射線治療（IMRT）患者数（単位：人） 239 273 254 295 延べ件数（単位：件） 5,076 5,988 6,491 9,413					【循環器系】 区分＼年 H27 H28 H29 H30 アプローチ 73 78 98 195 PMI※ 54 64 52 71 ICD※ 16 12 18 18					【狭窄症・心筋梗塞パス運用実績】 項目＼年度 H27 H28 H29 H30 バス運用（単位：件） 117 92 65 25 登録医師数（単位：人） 72 74 73 65				
							2 周産期医療 ・ 東濃地域の地域周産期母子医療センターとして、ハイリスク妊娠や分娩に対し、24時間対応できる体制を維持確保した。現在の診療体制を維持、充実させるために継続して医師、助産師の確保、増員に努めた結果、産婦人科医が1名増加し、8名体制となった。また新たに助産師3名を採用した。 ・ 新生児搬送に関する運用の見直しを行い、東濃4市及び可茂消防本部等に搬送用保育器（ストレッチャー付）をあらかじめ配備し、より迅速な患者搬送と受け入れが可能となった。									

項目No.	中期計画の取組項目	H30 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																											
			<p>【周産期母子医療センターの主な実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分娩件数 (単位：件)</td><td>492</td><td>528</td><td>533</td><td>541</td></tr> <tr> <td>新生児数 (単位：人)</td><td>534</td><td>563</td><td>563</td><td>577</td></tr> <tr> <td>年間入院者数</td><td>NICU (単位：人)</td><td>264</td><td>219</td><td>219</td><td>203</td></tr> <tr> <td></td><td>GCU (単位：人)</td><td>461</td><td>444</td><td>444</td><td>390</td></tr> <tr> <td></td><td>産科 (単位：人)</td><td>575</td><td>719</td><td>719</td><td>688</td></tr> <tr> <td></td><td>母胎搬送件数 (単位：件)</td><td>79</td><td>92</td><td>95</td><td>76</td></tr> <tr> <td></td><td>新生児搬送件数 (単位：件)</td><td>84</td><td>60</td><td>52</td><td>76</td></tr> </tbody> </table> <p>4 精神科医療・感染症医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 東濃地域の唯一の結核指定医療機関及び感染症指定医療機関として救急患者や他の医療機関で対応が困難な患者の受け入れ体制を継続維持した。 東濃精神科医療連絡会の開催（年3回）や、県内の医療機関との情報交換により症例検討のほか、各機関での取組みや近況の報告等を行い、地域の医療機関、行政、福祉施設等との精神医療に関する情報交換を行った。 結核病棟において結核患者受け入れ対策について、看護職員に対する勉強会を実施した。 <p>【患者の受入れ実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病床＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>結核、感染症</td><td>3,072</td><td>3,361</td><td>2,957</td><td>1,603</td></tr> <tr> <td>精神科</td><td>6,937</td><td>6,220</td><td>5,900</td><td>4,842</td></tr> </tbody> </table> <p>5 緩和ケア</p> <ul style="list-style-type: none"> 緩和ケアセンターを活用し、退院支援カンファレンスや緩和ケアに関わる他医療機関及び多職種連携のカンファレンスを開催した。入院から在宅での緩和ケアへ円滑に移行できるよう関係機関で患者情報を共有し、連携の強化を行った。 <p>【緩和ケア勉強会等開催状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緩和ケア勉強会</td><td>8</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td></tr> <tr> <td>緩和ケア研修会</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>	区分＼年度	H27	H28	H29	H30	分娩件数 (単位：件)	492	528	533	541	新生児数 (単位：人)	534	563	563	577	年間入院者数	NICU (単位：人)	264	219	219	203		GCU (単位：人)	461	444	444	390		産科 (単位：人)	575	719	719	688		母胎搬送件数 (単位：件)	79	92	95	76		新生児搬送件数 (単位：件)	84	60	52	76	病床＼年度	H27	H28	H29	H30	結核、感染症	3,072	3,361	2,957	1,603	精神科	6,937	6,220	5,900	4,842	区分＼年度	H27	H28	H29	H30	緩和ケア勉強会	8	6	6	6	緩和ケア研修会	2	1	1	1		
区分＼年度	H27	H28	H29	H30																																																																												
分娩件数 (単位：件)	492	528	533	541																																																																												
新生児数 (単位：人)	534	563	563	577																																																																												
年間入院者数	NICU (単位：人)	264	219	219	203																																																																											
	GCU (単位：人)	461	444	444	390																																																																											
	産科 (単位：人)	575	719	719	688																																																																											
	母胎搬送件数 (単位：件)	79	92	95	76																																																																											
	新生児搬送件数 (単位：件)	84	60	52	76																																																																											
病床＼年度	H27	H28	H29	H30																																																																												
結核、感染症	3,072	3,361	2,957	1,603																																																																												
精神科	6,937	6,220	5,900	4,842																																																																												
区分＼年度	H27	H28	H29	H30																																																																												
緩和ケア勉強会	8	6	6	6																																																																												
緩和ケア研修会	2	1	1	1																																																																												

項目No.	中期計画の取組項目	H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																									
			<table border="1"> <tr><td>緩和ケア講演会</td><td>2</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>緩和ケア市民公開講座</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> </table> <p>【緩和ケアの患者動向】単位：人</p> <table border="1"> <tr><th>区分＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> <tr><td>入院患者数</td><td>3,227</td><td>3,237</td><td>4,011</td><td>3,433</td></tr> <tr><td>外来患者数</td><td>125</td><td>129</td><td>143</td><td>124</td></tr> </table>	緩和ケア講演会	2	2	0	0	緩和ケア市民公開講座	1	1	1	1	区分＼年度	H27	H28	H29	H30	入院患者数	3,227	3,237	4,011	3,433	外来患者数	125	129	143	124		
緩和ケア講演会	2	2	0	0																										
緩和ケア市民公開講座	1	1	1	1																										
区分＼年度	H27	H28	H29	H30																										
入院患者数	3,227	3,237	4,011	3,433																										
外来患者数	125	129	143	124																										

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期目標	<p>1－2 調査研究事業 法人で提供する医療の質の向上及び県内の医療水準の向上を図るために調査及び研究を行うことを求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 調査及び臨床研究等の推進 高度・先進医療の各分野において、疫学調査や診断技法・治療法の開発、臨床応用のための研究を推進すること。 岐阜県及び東濃地域の医療の水準の向上に寄与する観点から、大学等の研究機関や企業との共同研究などを促進すること。 ※ 診療情報等の活用 電子カルテシステムを中心とする医療総合情報システムをより有効に活用し、診療等で得た情報を医療の質の向上に活用するとともに、他の医療機関への情報提供を行うこと。
------	---

項目No.	中期計画の取組項目	H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由															
06	<ul style="list-style-type: none"> ※ 調査及び臨床研究等の推進 <ul style="list-style-type: none"> 1 臨床研究及び治験の推進 		<p>1 臨床研究及び治験の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 治験施設支援機関の支援により、治験参加の有益性の啓発に努め、新規2件を受託した。 ・ 臨床共同研究については、関連大学等からの依頼に積極的に応じた。 <p>【臨床研究及び治験件数】単位：件</p> <table border="1"> <tr><th>区分＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> <tr><td>治験実施件数</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>3</td></tr> <tr><td>臨床共同研究件数</td><td>18</td><td>21</td><td>40</td><td>30</td></tr> </table>	区分＼年度	H27	H28	H29	H30	治験実施件数	0	1	1	3	臨床共同研究件数	18	21	40	30	III	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価
区分＼年度	H27	H28	H29	H30																
治験実施件数	0	1	1	3																
臨床共同研究件数	18	21	40	30																
07	<ul style="list-style-type: none"> ※ 診療情報等の活用 <ul style="list-style-type: none"> 1 医療総合情報システムに蓄積さ 		<p>1 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本病院会、自治体病院協議会のQI事業に参加し、その 	III	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価															

項目No.	中期計画の取組項目	H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																								
	<p>れた各種医療データの有効活用</p> <p>2 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用</p>		<p>ベンチマーク結果を医療の質向上委員会に報告し、関係部署にフィードバックを行い医療の質向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部委託によるデータ分析及び検証により、施設比較・課題の抽出を実施し診療報酬委員会での報告と、対策・提案等について院内研修会を開催し改善に努めた結果、DPC係数、診療密度、看護必要度向上など、経営向上、医療の質向上に成果が得られた。 <p>【看護必要度】 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目＼年度</th><th>H27</th><th>H28※</th><th>H29</th><th>H30※</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当院値</td><td>19.8</td><td>27.6</td><td>29.0</td><td>37.8</td></tr> <tr> <td>7対1施設基準</td><td>15.0</td><td>25.0</td><td>25.0</td><td>30.0</td></tr> </tbody> </table> <p>※平成28年度、30年度の改定時に評価項目の大幅な変更あり（値も大きく変動）</p> <p>【診療密度】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目＼改定年度</th><th>H26</th><th>H28</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当院値</td><td>2381.11</td><td>2416.98</td><td>2386.25</td></tr> <tr> <td>II群基準値</td><td>2482.09</td><td>2513.24</td><td>2413.38</td></tr> <tr> <td>対基準値（%）</td><td>95.93</td><td>96.17</td><td>98.88</td></tr> </tbody> </table> <p>【DPC係数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目＼年月</th><th>H27.4</th><th>H28.4 ※</th><th>H29.4</th><th>H30.4 ※</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基礎係数</td><td>1.0276</td><td>1.0296</td><td>1.0296</td><td>1.0314</td></tr> <tr> <td>暫定調整係数</td><td>0.0432</td><td>0.0224</td><td>0.0224</td><td>0.0000</td></tr> <tr> <td>機能評価係数II</td><td>0.0643</td><td>0.0758</td><td>0.0762</td><td>0.1295</td></tr> <tr> <td>計</td><td>1.1351</td><td>1.1278</td><td>1.1282</td><td>1.1609</td></tr> </tbody> </table> <p>※改定年</p> <p>2 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本病院会「QIプロジェクト」、全国自治体病院協議会「医療の質の評価・公表等推進事業」に参加し、経営管理指標、患者満足度、連携先満足度や褥瘡発生率など全40項目 	項目＼年度	H27	H28※	H29	H30※	当院値	19.8	27.6	29.0	37.8	7対1施設基準	15.0	25.0	25.0	30.0	項目＼改定年度	H26	H28	H30	当院値	2381.11	2416.98	2386.25	II群基準値	2482.09	2513.24	2413.38	対基準値（%）	95.93	96.17	98.88	項目＼年月	H27.4	H28.4 ※	H29.4	H30.4 ※	基礎係数	1.0276	1.0296	1.0296	1.0314	暫定調整係数	0.0432	0.0224	0.0224	0.0000	機能評価係数II	0.0643	0.0758	0.0762	0.1295	計	1.1351	1.1278	1.1282	1.1609		
項目＼年度	H27	H28※	H29	H30※																																																									
当院値	19.8	27.6	29.0	37.8																																																									
7対1施設基準	15.0	25.0	25.0	30.0																																																									
項目＼改定年度	H26	H28	H30																																																										
当院値	2381.11	2416.98	2386.25																																																										
II群基準値	2482.09	2513.24	2413.38																																																										
対基準値（%）	95.93	96.17	98.88																																																										
項目＼年月	H27.4	H28.4 ※	H29.4	H30.4 ※																																																									
基礎係数	1.0276	1.0296	1.0296	1.0314																																																									
暫定調整係数	0.0432	0.0224	0.0224	0.0000																																																									
機能評価係数II	0.0643	0.0758	0.0762	0.1295																																																									
計	1.1351	1.1278	1.1282	1.1609																																																									

項目No.	中期計画の取組項目	H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由												
			<p>のC I、Q Iデータについて分析をするとともに、年報やホームページ上で公開した。また、その分析結果を医療の質向上委員会で報告、検討し、PDCAサイクルに基づいた医療の質向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国や県の行うがん登録事業に継続参加し、登録件数の増加に努めた。「がん登録システム」の活用により、データ精度が向上した。また、循環器疾患等に係る事業にも参加協力するとともに日本病院会Q I事業にも継続参加した。フィードバックされた情報を院内の関係委員会やカンファレンス等で共有し、医療の質向上に努めた。 <p>【Q I 指標項目数】 単位：個</p> <table border="1"> <tr> <td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td></tr> <tr> <td>24</td><td>43</td><td>43</td><td>40</td></tr> </table> <p>【がん登録件数】 単位：件</p> <table border="1"> <tr> <td>H29</td><td>H30</td></tr> <tr> <td>1,799</td><td>1,661</td></tr> </table>	H27	H28	H29	H30	24	43	43	40	H29	H30	1,799	1,661		
H27	H28	H29	H30														
24	43	43	40														
H29	H30																
1,799	1,661																

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期目標	<p>1－3 教育研修事業 医療の高度化・多様化に対応できるよう、医師・看護師・コメディカルを目指す学生及び救急救命士に対する教育、臨床研修医の受入れなど、地域の医療従事者への教育及び研修を実施することを求める。</p> <p>※ 医師の卒後臨床研修等の充実 研修医等の研修施設として認められた病院(臨床研修病院)として、臨床研修医及びレジデント(専門分野の研修医)の積極的な受入れを行うこと。 名古屋大学医学部附属病院、名古屋市立大学病院、岐阜大学医学部附属病院、岐阜県が設立した他の地方独立行政法人などの臨床研修病院との連携や、法人の有する人的・物的資源を生かした独自の臨床研修プログラムの開発など、質の高い医療従事者の養成に努めること。</p> <p>※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施 医学生、岐阜県立看護大学、岐阜県立衛生専門学校、岐阜県立看護専門学校等の学生及びコメディカルを目指す学生の実習の受入れ、救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実を図ること。</p>
------	---

項目No.	中期計画の取組項目	H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																														
08	<p>※ 医師の卒後臨床研修等の充実</p> <p>1 質の高い医療従事者の養成</p> <p>2 後期研修医に対する研修等</p>		<p>1 質の高い医療従事者の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 最新の医療技術や知識習得のため、学会や講習会への参加に必要な経費を負担するなどの支援を行った。 管理的業務に従事する医師、看護師等を対象としたマネジメント研修を開催し、マネジメントや人材育成に関するスキルアップを図った。 岐阜県医師確保育成コンソーシアムの補助金を活用し、外部講師による勉強会として、総合診療教育カンファレンスを開催した。（計8回実施） 研修医を対象とした内科症例検討会（月1回）、各診療科部長による実践的な講義（毎月2診療科）、早朝勉強会（月1回）を開催した。 <p>【医師の研修派遣実績人数】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣</td><td>453</td><td>424</td><td>409</td><td>510</td></tr> </tbody> </table> <p>【職員を対象とした外部講師開催実績】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th><th>講演会等名</th><th>講師</th><th>参加者</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30.5.29 H30.5.31</td><td>上席看護師長、 看護師長及び看 護師主査向け階 層別マネジメン ト研修</td><td>LLCチーム経営 嶋田 至 氏 広瀬 義浩 氏</td><td>82</td></tr> <tr> <td>H30.6.22 H30.7.11 H30.8.8</td><td>課長補佐級職員 及び主査級職員 向け階層別マネ ジメント研修</td><td>LLCチーム経営 嶋田 至 氏 広瀬 義浩 氏</td><td>70</td></tr> <tr> <td>H30.8.30</td><td>新任主任医長及 び医長向け階層 別マネジメント 研修</td><td>(株)アクリー ト・ワークス 守屋 文貴 氏</td><td>24</td></tr> <tr> <td>H30.11.27</td><td>コメディカル及 び事務局のチー フ級職員向け階 層別マネジメン ト研修</td><td>LLCチーム経営 嶋田 至 氏 広瀬 義浩 氏</td><td>25</td></tr> </tbody> </table>	区分＼年度	H27	H28	H29	H30	派遣	453	424	409	510	開催日	講演会等名	講師	参加者	H30.5.29 H30.5.31	上席看護師長、 看護師長及び看 護師主査向け階 層別マネジメン ト研修	LLCチーム経営 嶋田 至 氏 広瀬 義浩 氏	82	H30.6.22 H30.7.11 H30.8.8	課長補佐級職員 及び主査級職員 向け階層別マネ ジメント研修	LLCチーム経営 嶋田 至 氏 広瀬 義浩 氏	70	H30.8.30	新任主任医長及 び医長向け階層 別マネジメント 研修	(株)アクリー ト・ワークス 守屋 文貴 氏	24	H30.11.27	コメディカル及 び事務局のチー フ級職員向け階 層別マネジメン ト研修	LLCチーム経営 嶋田 至 氏 広瀬 義浩 氏	25	III	継続的な取組が実施で きているが、平年並みの 実績と評価
区分＼年度	H27	H28	H29	H30																															
派遣	453	424	409	510																															
開催日	講演会等名	講師	参加者																																
H30.5.29 H30.5.31	上席看護師長、 看護師長及び看 護師主査向け階 層別マネジメン ト研修	LLCチーム経営 嶋田 至 氏 広瀬 義浩 氏	82																																
H30.6.22 H30.7.11 H30.8.8	課長補佐級職員 及び主査級職員 向け階層別マネ ジメント研修	LLCチーム経営 嶋田 至 氏 広瀬 義浩 氏	70																																
H30.8.30	新任主任医長及 び医長向け階層 別マネジメント 研修	(株)アクリー ト・ワークス 守屋 文貴 氏	24																																
H30.11.27	コメディカル及 び事務局のチー フ級職員向け階 層別マネジメン ト研修	LLCチーム経営 嶋田 至 氏 広瀬 義浩 氏	25																																

項目No.	中期計画の取組項目	H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)				自己評価	自己評価理由																																				
			<table border="1"> <tr> <td>H31. 1. 23</td><td>平成30年度 第2回感染対策 講演会</td><td>アリーアメディ カル株感染症領 域 シニアアド バイザー 原 哲郎 氏</td><td>1,125</td></tr> <tr> <td>H31. 1. 24</td><td>管理職及びチー フ級職員向け アサーティブ研 修</td><td>特定非営利法人 アサーティブジ ャパン 森田 汐生 氏</td><td>44</td></tr> <tr> <td>H31. 2. 26</td><td>平成30年度 第2回医療安全 講演会</td><td>名古屋大学医学 部附属病院 医療の質・安全 管理部・病院講 師 北野 文将 氏</td><td>1,089</td></tr> </table> <p>【研修医を対象とした外部講師開催実績】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>講演会等名</th><th>回数</th><th>講師</th><th>参加者</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JPTEC（病院前外傷 教育プログラム）</td><td>1</td><td>一般社団法人 JPTEC協議会 山田 常晶 氏ほか</td><td>14</td></tr> <tr> <td>総合診療教育カン ファレンス</td><td>9</td><td>名古屋大学医学部 附属病院 総合診療科 松久 貴晴 氏</td><td>延べ157</td></tr> </tbody> </table> <p>【初期臨床研修医数】 単位：人（各年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td><td>18</td><td>21</td><td>21</td><td>23</td></tr> <tr> <td>歯科医師</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> </tbody> </table> <p>2 後期研修医に対する研修等</p> <ul style="list-style-type: none"> 内科領域及び外科領域にかかる専門研修プログラムの基幹施設として専攻医を募集し、内科領域で3名、外科領域で2名を当院のプログラムに採用した。また、その他の診療科においても名古屋大学医学部附属病院が基幹施設となる専門研修プログラムの連携施設として、初期研修医が当院に在籍したまま後期研修が実施できる体制を整え、5名の専攻医が在籍となった。 	H31. 1. 23	平成30年度 第2回感染対策 講演会	アリーアメディ カル株感染症領 域 シニアアド バイザー 原 哲郎 氏	1,125	H31. 1. 24	管理職及びチー フ級職員向け アサーティブ研 修	特定非営利法人 アサーティブジ ャパン 森田 汐生 氏	44	H31. 2. 26	平成30年度 第2回医療安全 講演会	名古屋大学医学 部附属病院 医療の質・安全 管理部・病院講 師 北野 文将 氏	1,089	講演会等名	回数	講師	参加者	JPTEC（病院前外傷 教育プログラム）	1	一般社団法人 JPTEC協議会 山田 常晶 氏ほか	14	総合診療教育カン ファレンス	9	名古屋大学医学部 附属病院 総合診療科 松久 貴晴 氏	延べ157	区分＼年度	H27	H28	H29	H30	医師	18	21	21	23	歯科医師	2	2	2	2		
H31. 1. 23	平成30年度 第2回感染対策 講演会	アリーアメディ カル株感染症領 域 シニアアド バイザー 原 哲郎 氏	1,125																																									
H31. 1. 24	管理職及びチー フ級職員向け アサーティブ研 修	特定非営利法人 アサーティブジ ャパン 森田 汐生 氏	44																																									
H31. 2. 26	平成30年度 第2回医療安全 講演会	名古屋大学医学 部附属病院 医療の質・安全 管理部・病院講 師 北野 文将 氏	1,089																																									
講演会等名	回数	講師	参加者																																									
JPTEC（病院前外傷 教育プログラム）	1	一般社団法人 JPTEC協議会 山田 常晶 氏ほか	14																																									
総合診療教育カン ファレンス	9	名古屋大学医学部 附属病院 総合診療科 松久 貴晴 氏	延べ157																																									
区分＼年度	H27	H28	H29	H30																																								
医師	18	21	21	23																																								
歯科医師	2	2	2	2																																								

項目No.	中期計画の取組項目	H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																	
			<p>【後期研修医（レジデント）数】 単位：人（各年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td><td>11</td><td>13</td><td>19</td><td>16</td></tr> <tr> <td>歯科医師</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>	区分＼年度	H27	H28	H29	H30	医師	11	13	19	16	歯科医師	1	1	1	1																																																				
区分＼年度	H27	H28	H29	H30																																																																		
医師	11	13	19	16																																																																		
歯科医師	1	1	1	1																																																																		
09	<p>※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施</p> <p>1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ</p> <p>2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</p>	<p>1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> 医学生については、名古屋大学、名古屋市立大学、岐阜大学など関連大学から実習生や見学生を積極的に受け入れた。また、看護学生やコメディカルは専門学校や大学からの実習を積極的に受け入れた。看護学生については、特に精神科、小児科や母性の実習への要請が強く、可能な限り受け入れられるように、実習のスケジュールを調整した。 <p>【学生の実習受入れ状況】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生</td><td>32</td><td>16</td><td>22</td><td>41</td></tr> <tr> <td>看護学生</td><td>541</td><td>380</td><td>458</td><td>505</td></tr> <tr> <td>コメディカル</td><td>51</td><td>57</td><td>59</td><td>69</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>624</td><td>453</td><td>539</td><td>615</td></tr> </tbody> </table> <p>【医学生の見学受入れ状況】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td>32</td><td>67</td><td>92</td><td>108</td></tr> </tbody> </table>	区分＼年度	H27	H28	H29	H30	医学生	32	16	22	41	看護学生	541	380	458	505	コメディカル	51	57	59	69	合 計	624	453	539	615		H27	H28	H29	H30		32	67	92	108	<p>2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の生涯教育実習、就業前実習、気管挿管実習、薬剤投与実習を定期的に実施し、医療技術の向上を図った。 <p>【救急救命士の研修実績状況】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生涯教育実習</td><td>64</td><td>33</td><td>54</td><td>78</td></tr> <tr> <td>就業前実習</td><td>8</td><td>8</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr> <td>気管挿管実習</td><td>1</td><td>2</td><td>4</td><td>2</td></tr> <tr> <td>薬剤投与実習</td><td>0</td><td>6</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>73</td><td>49</td><td>63</td><td>86</td></tr> </tbody> </table>	区分＼年度	H27	H28	H29	H30	生涯教育実習	64	33	54	78	就業前実習	8	8	4	4	気管挿管実習	1	2	4	2	薬剤投与実習	0	6	1	2	合 計	73	49	63	86	IV	看護学校の要望に応えるようにスケジュール調整する等、積極的な受け入れを行い、看護学生をはじめ学生の実習受け入れ人数が増加した実績を評価
区分＼年度	H27	H28	H29	H30																																																																		
医学生	32	16	22	41																																																																		
看護学生	541	380	458	505																																																																		
コメディカル	51	57	59	69																																																																		
合 計	624	453	539	615																																																																		
	H27	H28	H29	H30																																																																		
	32	67	92	108																																																																		
区分＼年度	H27	H28	H29	H30																																																																		
生涯教育実習	64	33	54	78																																																																		
就業前実習	8	8	4	4																																																																		
気管挿管実習	1	2	4	2																																																																		
薬剤投与実習	0	6	1	2																																																																		
合 計	73	49	63	86																																																																		

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期目標	1－4 地域支援事業 地域の医療機関から信頼され、必要とされる病院となるよう、地域への支援を行うことを求める。
	<p>※ 地域医療への支援</p> <p>地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、高度先進医療機器の共同利用の促進、開放病床の利用促進など、地域基幹病院として地域医療の確保に努めること。</p> <p>医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援を積極的に行うこと。</p> <p>※ 社会的な要請への協力</p> <p>法人が有する人材や知見を提供し、鑑定、調査、講師派遣などの社会的な要請に対し、積極的な協力をすること。</p> <p>※ 保健医療情報の提供・発信</p> <p>県民の健康意識の醸成を図るため、専門医療情報など病院が有する保健医療情報を、県民を対象とした公開講座やホームページなどにより情報発信を行うこと。</p>

項目No.	中期計画の取組項目	H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由								
10	※ 地域医療への支援 1 地域医療水準の向上 2 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援		<p>1 地域医療水準の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 年4回開催した地域医療連携推進協議会を通じ、医師会長をはじめとする関係者に医療連携の推進、高度医療機器、開放型病床の利用促進を図った。 各種講演会（医療安全、感染対策等）、勉強会、症例検討会、医療連携交流会の開催、東濃医学会学術集会における演題発表により地域医療水準の向上に努めた。 東濃、可児地域の8病院で組織された東濃・可児地域病連携推進会議（年2回開催）を通じ、病院間で協力、提携した診療を模索し、それぞれの医療資源を有効活用したより良い診療環境の提供について検討を行った。また県主導で地域医療構想が進められる中、各病院の機能について、今後の方向性等について意見交換を行った。 <p>2 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険上矢作病院、中津川市民病院、土岐市立総合病院へ医師を派遣するなど、医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援を継続した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣医療機関</th><th>派遣状況</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国民健康保険上矢作病院</td><td>週1日（当直業務） 1人（6人で交代） 延べ52人 研修医を5ヶ月（延べ5人）</td></tr> <tr> <td>中津川市民病院</td><td>脳神経外科 4月～翌3月 毎週木曜日 1人（2人で隔週交代） 延べ47人</td></tr> <tr> <td>土岐市立総合病院</td><td>循環器内科 4月～翌3月 毎週木曜日 1人（6人で隔週交代） 延べ49人</td></tr> </tbody> </table>	派遣医療機関	派遣状況	国民健康保険上矢作病院	週1日（当直業務） 1人（6人で交代） 延べ52人 研修医を5ヶ月（延べ5人）	中津川市民病院	脳神経外科 4月～翌3月 毎週木曜日 1人（2人で隔週交代） 延べ47人	土岐市立総合病院	循環器内科 4月～翌3月 毎週木曜日 1人（6人で隔週交代） 延べ49人	III	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価
派遣医療機関	派遣状況												
国民健康保険上矢作病院	週1日（当直業務） 1人（6人で交代） 延べ52人 研修医を5ヶ月（延べ5人）												
中津川市民病院	脳神経外科 4月～翌3月 毎週木曜日 1人（2人で隔週交代） 延べ47人												
土岐市立総合病院	循環器内科 4月～翌3月 毎週木曜日 1人（6人で隔週交代） 延べ49人												
11	※ 社会的な要請への協力		<ul style="list-style-type: none"> 医療系専門学校、大学、企業、地域、近隣の病院や施設等の要請に応じ、医師、認定看護師や専門看護師、コメディカルを講師 	III	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実								

項目No.	中期計画の取組項目	H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																									
			<p>として派遣した。また、医療に関する鑑定調査（精神医療審査会、警察の死体検案等）、地域イベント（陶器まつり、茶碗まつりの救護班）に協力した。</p> <p>【講師等派遣の状況】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td><td>171</td><td>188</td><td>222</td><td>179</td></tr> <tr> <td>看護師</td><td>32</td><td>33</td><td>64</td><td>55</td></tr> <tr> <td>コメディカル</td><td>23</td><td>18</td><td>32</td><td>46</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>226</td><td>239</td><td>318</td><td>280</td></tr> </tbody> </table>	区分＼年度	H27	H28	H29	H30	医師	171	188	222	179	看護師	32	33	64	55	コメディカル	23	18	32	46	合 計	226	239	318	280		績と評価
区分＼年度	H27	H28	H29	H30																										
医師	171	188	222	179																										
看護師	32	33	64	55																										
コメディカル	23	18	32	46																										
合 計	226	239	318	280																										
12	<p>※ 保健医療情報の提供・発信</p> <p>1 公開講座、医療相談会等の開催</p> <p>2 保健医療、健康管理等の情報提供</p>		<p>1 公開講座、医療相談会等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民公開講座・緩和ケア市民公開講座や、医師、看護師等による健康づくり講座等を行った。健康づくり講座については、21回開催し、保健医療情報の発信、医療連携の推進に努めた。 <p>【市民を対象とした公開講座、医療相談等開催実績】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th><th>公開講座等名</th><th>参加者</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30.9.27</td><td>緩和ケア市民公開講座 「いきたひ～看取り・命のバトン」 講師：長谷川 ひろ子 氏</td><td>281</td></tr> <tr> <td>H30.11.4</td><td>市民公開講座 「がん治療における放射線治療の役割」 講師：当院放射線治療科 部長 浅野 晶子 当院中央放射部 技術主査 鎌田 茂義</td><td>127</td></tr> <tr> <td>H30.11.4</td><td>秋まつり ブースにて内視鏡手術体験などを実施</td><td>514</td></tr> <tr> <td>年21回</td><td>健康づくり講座 「認知症予防の活動」他</td><td>954</td></tr> </tbody> </table>	開催日	公開講座等名	参加者	H30.9.27	緩和ケア市民公開講座 「いきたひ～看取り・命のバトン」 講師：長谷川 ひろ子 氏	281	H30.11.4	市民公開講座 「がん治療における放射線治療の役割」 講師：当院放射線治療科 部長 浅野 晶子 当院中央放射部 技術主査 鎌田 茂義	127	H30.11.4	秋まつり ブースにて内視鏡手術体験などを実施	514	年21回	健康づくり講座 「認知症予防の活動」他	954	III	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価										
開催日	公開講座等名	参加者																												
H30.9.27	緩和ケア市民公開講座 「いきたひ～看取り・命のバトン」 講師：長谷川 ひろ子 氏	281																												
H30.11.4	市民公開講座 「がん治療における放射線治療の役割」 講師：当院放射線治療科 部長 浅野 晶子 当院中央放射部 技術主査 鎌田 茂義	127																												
H30.11.4	秋まつり ブースにて内視鏡手術体験などを実施	514																												
年21回	健康づくり講座 「認知症予防の活動」他	954																												

項目No.	中期計画の取組項目	H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
			<p>2 保健医療、健康管理等の情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 親しみやすいデザインに一新した病院広報誌「けんびょういん」を年2回発行する等、地域情報誌等やホームページを活用した広報活動等により、医療に関する情報を積極的に発信した。 		

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期目標	1－5 災害等発生時における医療救護 災害等発生時において、医療救護活動の拠点機能を担うとともに、医療スタッフや災害派遣医療チーム(以下「DMA T」という。)の派遣など医療救護を行うことを求める。
	<p>※ 医療救護活動の拠点機能の充実</p> <p>災害等発生時には、岐阜県地域防災計画に基づき、患者の受入れや医療スタッフの現地派遣など本県あるいは東濃地域の医療救護活動の拠点機能を担うこと。</p> <p>災害拠点病院としての機能を十分に發揮できるよう、医療物資(医薬品、診療材料、給食材料など)の優先納入体制の整備など災害時医療体制の充実・強化を図ること。</p> <p>※ 他県等の医療救護への協力</p> <p>県内のみならず他県等の大規模災害等においても、岐阜県の要請に基づきDMA Tを派遣するなど、積極的に医療救護の協力をすること。</p> <p>※ 被災時における病院機能維持のための準備体制の確立</p> <p>大規模災害等緊急事態を想定した業務継続計画の作成及び訓練等を実施すること。</p> <p>※ 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮</p> <p>新型インフルエンザ等(新型インフルエンザ等対策特別措置法第2条に規定する新型インフルエンザ等をいう。以下同じ。)発生時には、指定地方公共機関として、業務計画に基づき、新型インフルエンザ等の患者の外来診療・入院の受入れ、重症症例の治療等を行うこと。</p> <p>感染症指定医療機関として、平時から患者を受け入れられる体制を整備するとともに、東濃地域の医療機関に対して医療情報の提供など指導的役割を担うこと。</p>

項目No.	中期計画の取組項目	H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由						
13	<p>※ 医療救護活動の拠点機能の充実</p> <p>1 医療救護活動の拠点機能の充実</p> <p>2 災害拠点病院としての機能強化及び指導的役割の推進</p>	<p>2 災害拠点病院としての機能強化及び指導的役割の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害発生時の医療資源の不足に伴い病院の重要な機能が低下した状況下において、当院としての非常時優先業務を必要な時間内に再開・継続及び開始するための基本方針、取り組み等を定めた診療継続計画書(BCP)を策定した。 ・ 関係機関と連携した災害実働訓練では、策定した「ミッションシート(非常時行動手順及び行動チェックシート)」の実証等、被災により病院機能低下状況下における災害医療実働訓練を実施した。 ・ バス転落事故、集団食中毒、熱中症などMC I (Mass 	<p>1 医療救護活動の拠点機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大規模災害を想定し、被災により病院機能低下状況下での災害医療実施訓練や、休日などを想定した消防訓練を実施して機能を検証した。 ・ 救急医療体制、災害医療体制、感染症患者受入態勢を維持するため、必要な施設設備の維持管理を行った。 <p>【災害訓練の実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害実働訓練</td> <td>H30.11.8</td> <td>震度6弱の地震を想</td> </tr> </tbody> </table>		開催日	備考	災害実働訓練	H30.11.8	震度6弱の地震を想	IV	診療継続計画書(BCP)の策定など、災害拠点病院としての機能強化に関する取組を評価
	開催日	備考									
災害実働訓練	H30.11.8	震度6弱の地震を想									

項目No.	中期計画の取組項目	H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由								
		Casualty Incident、多数傷病者事故)による通常救急体制では対応困難な医療需要が急増した場合の院内対応、消防との連携体制の検討を行うとともに、東濃地域の5救急病院と5市消防本部との連携体制を確立する必要性から、東濃MC I連携対応検討会を開催した。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;">定し、被災により病院機能低下状況下での災害医療実働訓練</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">消防訓練</td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">H30.7.18</td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">河川水位上昇を想定した水害避難訓練</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">H31.3.6</td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">休日昼間想定（東病棟7階で出火）</td> </tr> </table>			定し、被災により病院機能低下状況下での災害医療実働訓練	消防訓練	H30.7.18	河川水位上昇を想定した水害避難訓練	H31.3.6	休日昼間想定（東病棟7階で出火）		
		定し、被災により病院機能低下状況下での災害医療実働訓練											
消防訓練	H30.7.18	河川水位上昇を想定した水害避難訓練											
	H31.3.6	休日昼間想定（東病棟7階で出火）											
14	<p>※ 他県等の医療救護への協力</p> <p>1 DMA Tの質の向上と維持</p> <p>2 大規模災害発生時のDMA Tの派遣</p>		<p>1 DMA Tの質の向上と維持</p> <ul style="list-style-type: none"> 国（厚生労働省）、中部地区、県などが関係する訓練に積極的に参加し、質の維持と向上を図った。 <p>【主なDMA T活動訓練等実績】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">実施期間</td> <td style="padding: 2px;">訓練内容</td> <td style="padding: 2px;">参加人数</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">H30.10.13～ H30.10.14</td> <td style="padding: 2px;">中部ブロックDMA T実働訓練</td> <td style="padding: 2px;">9</td> </tr> </table> <p>2 大規模災害発生時のDMA Tの派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> DMA Tについては、2チームを編成し、災害派遣精神医療チーム（D P A T : Disaster Psychiatric Assistance Team）については、医師2名を指定するとともに1チームを編成して応援体制を維持した。 災害発生先で利用することを中心に病院用クレジットカードを整備した。 	実施期間	訓練内容	参加人数	H30.10.13～ H30.10.14	中部ブロックDMA T実働訓練	9	III	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価		
実施期間	訓練内容	参加人数											
H30.10.13～ H30.10.14	中部ブロックDMA T実働訓練	9											
15	<p>※ 被災時における病院機能維持のための準備体制の確立</p> <p>1 診療継続計画の作成及び訓練等による体制の整備</p> <p>2 診療情報のバックアップシステムの構築</p>	<p>1 診療継続計画の作成及び訓練等による体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害発生時の医療資源の不足に伴い病院の重要な機能が低下した状況下において、当院としての非常時優先業務を必要な時間内に再開・継続及び開始するための基本方針、取り組み等を定めた診療継続計画書（B C P）を策定した。 	<p>2 診療情報のバックアップシステムの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模災害発生時に備え、医療現場において専用端末のみで患者情報が得られるよう、S S - M I Xの情報が閲覧できるシステムを構築して、各部署で運用を開始した。 	IV	診療継続計画書（B C P）の策定など、被災時における病院機能維持のための準備体制の確立に関する取組を評価								
16	※ 新型インフルエンザ等発生時における役割の發揮		<p>1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務計画等に基づき、必要な資材の備蓄等の見直しや実地訓練、関係病棟スタッフの勉強会を実施し、受け入れ体制を維持 	III	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価								

項目No.	中期計画の取組項目	H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由												
	<p>1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備</p> <p>2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施</p> <p>3 感染症指定医療機関としての役割の發揮</p>		<p>した。</p> <p>2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東濃保健所主催の新型インフルエンザ等対策連携会議及び訓練に参加した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>参加施設等</th> <th>当院参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30.12.19</td> <td>指定地方公共機関、公立病院、一般医療機関、管内消防署、各市担当課</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型インフルエンザ等が発生した場合に受入れを行う病棟職員を対象に個人防護具の着脱訓練を実施した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>対象者</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30.12.13</td> <td>西病棟4階(感染症病床スタッフ)</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 感染症指定医療機関としての役割の發揮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東濃厚生病院にて東濃地区ＩＣＴ研究会が開催され、ＩＣＴメンバーが参加し情報交換を行った。また、地域連携加算施設間カンファレンスを定期的に開催し、情報交換を行った。 	実施日	参加施設等	当院参加人数	H30.12.19	指定地方公共機関、公立病院、一般医療機関、管内消防署、各市担当課	5	実施日	対象者	参加人数	H30.12.13	西病棟4階(感染症病床スタッフ)	11		
実施日	参加施設等	当院参加人数															
H30.12.19	指定地方公共機関、公立病院、一般医療機関、管内消防署、各市担当課	5															
実施日	対象者	参加人数															
H30.12.13	西病棟4階(感染症病床スタッフ)	11															

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

中期目標	<p>2-1 効率的な業務運営体制の確立　自律性・機動性・効率性の高い病院運営を行うための業務運営体制を確立するとともに、地方独立行政法人制度の特徴を最大限に生かし、業務運営の改善及び効率化に努めることを求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 効果的な組織体制の確立 医療を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応するため、組織・業務体制の改善及び充実を図ること。 ITの活用とアウトソーシングを適切に進めるとともに、経営企画機能を強化し、経営効率の高い業務執行体制を確立すること。 危機管理事案等発生時における情報共有体制を確立すること。 ※ 診療体制及び人員配置の弹力的運用 医療需要の変化に迅速に対応するため、診療科の変更や医師、看護師等の配置の弹力的運用を行うこと。 常勤以外の雇用形態も含めた多様な専門職の活用による、効果的な医療の提供に努めること。 ※ 人事評価システムの構築 職員のモチベーション向上のため、知識、能力、経験、勤務実績等を反映させた新たな公平で客観的な人事評価制度の構築を図ること。 ※ 事務部門の専門性の向上 事務部門において、病院特有の事務に精通した法人の職員を計画的に確保し、及び育成することにより、事務部門の専門性を向上すること。 ※ コンプライアンス(法令や倫理の遵守)の徹底 職員一人ひとりが誠実かつ公正に職務を遂行するため、業務執行におけるコンプライアンスを徹底し、適正な病院運営を行うこと。 ※ 適切な情報管理 業務の情報化に対応して、情報セキュリティ対策に努めること。 				
	項目No.	中期計画の取組項目	H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価
	17	<ul style="list-style-type: none"> ※ 効果的な組織体制の確立 <ul style="list-style-type: none"> 1 効率的かつ効果的な組織体制の充実 2 各種業務のIT化の推進 3 アウトソーシング導入などによる合理化 4 経営効率の高い業務執行体制の確立 5 危機管理事案等発生時における情報共有体制の確立 	<ul style="list-style-type: none"> 1 効率的かつ効果的な組織体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> 用度システム管理室と施設整備課の業務見直しにより管理課、新棟整備室に改編し、事務局の組織・業務体制の見直しを行った。 がん診療連携センター及びがん診療連携課を新設し、地域がん診療連携拠点病院としてがん医療に取り組む院内体制の強化を行った。 2 各種業務のIT化の推進 <ul style="list-style-type: none"> Microsoft Office関連のIT研修会を年5回実施し、職員のスキルアップを促進した。 スマートPDA(看護業務支援携帯端末)を新たに60台追加配備し、医療総合情報システム(電子カルテ)との情報連携により看護師の業務軽減を行った。 電子カルテ本体の更新については、令和元年5月からの稼 	III	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価

項目No.	中期計画の取組項目	H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
			<p>働き始に向け、部門ヒアリングを行い、それを基に新システムの仕様の確認と運用を確定した。また、電子カルテシステムの動作確認と職員の操作研修及び外来全体リハーサル等を行った。</p> <p>3 アウトソーシング導入などによる合理化 • 医事業務委託、清掃管理業務委託を委託業務評価の対象とし、業務が契約内容に基づき適切に実施されているかを検証し、改善や意識向上を図った。 ※平成27年度に委託業務評価に関する実施要領を制定し、業務委託契約の内容を点検、評価している。各委託業者自己評価に基づき内容を検証し、次年度以降の改善・向上に寄与している。</p> <p>4 経営効率の高い業務執行体制の確立 • 契約業務の適正化、及び改善・向上対策を図るため、医療コンサルタントを活用した。また、委託業務評価を行い、その評価結果に基づき契約内容を検証し、必要に応じて改善及び向上を図った。</p> <p>5 危機管理事案等発生時における情報共有体制の確立 • 災害医療実働訓練において、ウェブ上で操作できる新たな情報共有システム(BCPortal)を試験運用した。</p>		
18	<p>※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用</p> <p>1 弾力的運用の実施</p> <p>2 効果的な体制による医療の提供</p> <p>3 3法人間の人事交流による適正な職員配置</p>	<p>1 弾力的運用の実施 • 医療安全部に専従の事務職員を配置するとともに看護師1名を増員し、インシデント・アクシデント事案の集積や分析、情報発信機能の強化を図った。</p> <p>• 医療連携相談課医療連携担当に看護師1名を配置し、連携予約体制の強化を図った。また、医療連携相談課退院支援担当に看護師1名を配置し、福祉相談及び転院相談体制の強化を図った。</p> <p>• 看護師の業務負担軽減のため、非常勤で介護福祉士6名とへ</p>	<p>2 効果的な体制による医療の提供 • 医師事務作業補助者については、38名の人員を確保し、医師事務補助体制15対1を継続して充足することができた。電子カルテの操作訓練や書類作成演習等、実務に即した研修を積極的に実施し、個人の資質向上による質の高い医療の提供を目指した。</p> <p>【研修の実施】 ① 日本医師事務作業補助研究会への参加（1人）</p>	III	医療安全体制強化のための柔軟な職員配置、介護福祉士等の採用による病棟看護師の負担軽減等、一定の成果は得られたが、項目全体としては、平年並みと評価

項目No.	中期計画の取組項目	H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
		ルバー10名を採用し、病棟に配属した。	<p>学習した内容は、資料の回覧や医師クラークミーティングでの発表により、全員にフィードバック</p> <p>② 院内研修会の開催（8回）</p> <p>③ 新規採用者に35時間の研修を実施</p> <p>3 3法人間の人事交流による適正な職員配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師、看護師やコメディカルなどの医療従事者の人事交流実績はなかった。 		
19	※ 人事評価システムの構築		<ul style="list-style-type: none"> ・ 人事評価制度において、新たに非常勤職員の勤務評価を行う仕組みも加え、非常勤職員の就労意欲の向上を促し、人材育成にも活用できる仕組みを整えた。 	III	非常勤職員を評価する仕組みも整備する等、一定の成果は得られたが、項目全体としては、平年並みと評価
20	※ 事務部門の専門性の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務部門の専門・階層別研修に関する方針・計画を作成し、外部講師等を活用した研修を実施し、職員の資質向上を図った。階層別マネジメント研修として、管理職員、チーフ級職員及び主査級職員を対象とした研修を実施した。 <p>【新規採用職員の主な研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①マナー・コミュニケーション研修 ②ワークショップ研修～配属からこれまでを振り返って <p>【階層別マネジメント研修】</p> <p>〈課長補佐級職員〉</p> <p>対象者数：10人（うち事務職員2人） 内 容：個人及びグループワーク テ ー マ：「組織」×「強み、弱み、課題」から成果と貢献を考える</p> <p>〈チーフ級職員〉</p> <p>対象者数：25人（うち事務職員8人） 内 容：個人及びグループワーク テ ー マ：チームづくりを促すリーダーシップを考える</p> <p>〈主査級職員〉</p> <p>対象者数：70人（うち事務職員6人） 内 容：個人及びグループワーク テ ー マ：人と組織の成長を促し、上司を支えるリーダ</p>	III	階層別マネジメント研修の導入など、事務部門の専門性の向上に関して継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価

項目No.	中期計画の取組項目	H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由						
			<p>一シップを考える</p> <p>【会計実務研修】 対象者数：22人 内容：講義 テーマ：会計書類作成の流れや注意点</p> <p>【新任チーフ研修】 対象者数：3人 内容：個人及びグループワーク テーマ：担当チーフとして基本的マネジメントスキル及びOJTの理解</p>								
21	※ コンプライアンス(法令や倫理の遵守)の徹底		<ul style="list-style-type: none"> 監事監査や内部監査による確認指導に加え、新規採用職員に対するコンプライアンス研修を実施し、当院の職員との意識啓発及び周知徹底を行った。 <p>【コンプライアンス研修開催実績】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催期間</th> <th>講師・開催回数</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30.4～H31.3</td> <td>講師：事務局長及び人事給与担当職員 開催回数：9回</td> <td>116</td> </tr> </tbody> </table>	開催期間	講師・開催回数	参加者	H30.4～H31.3	講師：事務局長及び人事給与担当職員 開催回数：9回	116	III	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価
開催期間	講師・開催回数	参加者									
H30.4～H31.3	講師：事務局長及び人事給与担当職員 開催回数：9回	116									
22	※ 適切な情報管理		<ul style="list-style-type: none"> 職員等に対する情報セキュリティ研修や、情報セキュリティチェック(チェックシートによる自己確認)を実施した。 ネットワークに接続する関連システムサーバーの更新や電子カルテ端末管理システムのプログラムを最新版にアップグレードする等により、不正接続や端末管理の監視体制を強化した。 	III	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価						

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期目標	2-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善	地方独立行政法人制度の特徴を生かした業務内容の見直しや効率化を通じて、収支の改善を図ることを求める。
	※ 多様な契約手法の導入	透明性・公平性の確保に十分留意しつつ、複数年契約や複合契約など多様な契約手法を導入し、契約事務の合理化を図ること。
	※ 収入の確保	地域社会のニーズに即した病院経営を行うことにより、病床利用率や医療機器の稼働率を高め、収入の確保に努めること。 さらに、安定した経営を維持するため、国の医療制度改革や診療報酬改定等に速やかに対応すること。
	※ 費用の削減	薬剤・診療材料の購入方法の見直し、在庫管理の徹底、後発医薬品(ジェネリック医薬品)の採用などにより費用の節減に努めること。

項目No.	中期計画の取組項目	H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																				
23	※ 多様な契約手法の導入	<ul style="list-style-type: none"> 医療機器の保守点検業務委託について、複数の機器の包括契約や複数年契約により経費の節減を図った。 高額医療機器の更新にあたり、購入した場合との比較検討によりリース契約を採用し、経費の節減を図った。 立体駐車場の整備を、民間資金を活用しBTO方式(サービス購入型)で整備することとし、15年間の保守管理委託を含めた契約を締結した。契約にあたっては、運営管理を含めてプロポーザルによる業者選定を実施した。 		IV	立体駐車場の整備等、新たな契約方法により、経費削減に向けた取組を評価																																																				
24	※ 収入の確保 1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用、DPCの推進 2 未収金の発生防止対策等 3 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応	<p>1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用、DPCの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> DPCデータを基にした分析システムを活用し、病院の現状を明確化することにより診療報酬に直接関係のあるDPC機能評価係数を上げることができ、経営向上、医療の質向上を図った。 <p>※ DPC機能評価係数II</p> <table> <tbody> <tr> <td>H27年度係数</td> <td>0.0643</td> </tr> <tr> <td>H28年度係数</td> <td>0.0758</td> </tr> <tr> <td>H29年度係数</td> <td>0.0762</td> </tr> <tr> <td>H30年度係数</td> <td>0.1295</td> </tr> </tbody> </table> <p>【病床管理状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規入院患者(単位:人)</td> <td>13,886</td> <td>14,498</td> <td>14,781</td> </tr> <tr> <td>延入院患者(単位:人)</td> <td>172,398</td> <td>176,770</td> <td>167,723</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数(単位:日)</td> <td>全体 一般</td> <td>11.4 10.8</td> <td>11.2 10.6</td> <td>10.4 9.9</td> </tr> </tbody> </table>	H27年度係数	0.0643	H28年度係数	0.0758	H29年度係数	0.0762	H30年度係数	0.1295	項目\年度	H28	H29	H30	新規入院患者(単位:人)	13,886	14,498	14,781	延入院患者(単位:人)	172,398	176,770	167,723	平均在院日数(単位:日)	全体 一般	11.4 10.8	11.2 10.6	10.4 9.9	<p>2 未収金の発生防止対策等</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療相談担当と医事担当との連携を図り、診療の初期段階から患者の状況に応じた制度の適用等について積極的に介入を行った。 弁護士事務所への未収金回収委託を継続し、未収金管理システムを活用して債権の徴収状況を定期的に把握しながら効果的な回収を進めた。 <p>【未収金の発生状況】 (各年度末時点※)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H28</th> <th colspan="2">H29</th> <th colspan="2">H30</th> </tr> <tr> <th>件数 (件)</th> <th>金額 (千円)</th> <th>件数 (件)</th> <th>金額 (千円)</th> <th>件数 (件)</th> <th>金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年分</td> <td>422</td> <td>29,625</td> <td>315</td> <td>30,815</td> <td>279</td> <td>26,132</td> </tr> <tr> <td>現年分</td> <td>582</td> <td>22,760</td> <td>487</td> <td>22,584</td> <td>314</td> <td>19,910</td> </tr> </tbody> </table>		H28		H29		H30		件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	過年分	422	29,625	315	30,815	279	26,132	現年分	582	22,760	487	22,584	314	19,910	III	DPC分析等の効果によりDPC機能評価係数を引き上げることができ評価できるが、項目全体としては、平年並みの実績と評価
H27年度係数	0.0643																																																								
H28年度係数	0.0758																																																								
H29年度係数	0.0762																																																								
H30年度係数	0.1295																																																								
項目\年度	H28	H29	H30																																																						
新規入院患者(単位:人)	13,886	14,498	14,781																																																						
延入院患者(単位:人)	172,398	176,770	167,723																																																						
平均在院日数(単位:日)	全体 一般	11.4 10.8	11.2 10.6	10.4 9.9																																																					
	H28		H29		H30																																																				
	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)																																																			
過年分	422	29,625	315	30,815	279	26,132																																																			
現年分	582	22,760	487	22,584	314	19,910																																																			

項目No.	中期計画の取組項目	H30 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況					その他の主な取組／課題及びその改善策(●)						自己評価	自己評価理由																																				
		<table border="1"> <tr> <td>一人当たり 入院単価 (単位：円)</td><td>全体</td><td>65,152</td><td>66,161</td><td>71,328</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>一般</td><td>67,672</td><td>68,689</td><td>73,681</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	一人当たり 入院単価 (単位：円)	全体	65,152	66,161	71,328												一般	67,672	68,689	73,681											<table border="1"> <tr> <td>合計</td><td>1,004</td><td>52,385</td><td>802</td><td>53,399</td><td>593</td><td>46,042</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>※年度末時点での4月以降の診療報酬収納分を除く</p>	合計	1,004	52,385	802	53,399	593	46,042										
一人当たり 入院単価 (単位：円)	全体	65,152	66,161	71,328																																														
	一般	67,672	68,689	73,681																																														
合計	1,004	52,385	802	53,399	593	46,042																																												
		<p>(参考)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目＼年度</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一日当たり外来患者数 (単位：人)</td><td>1,119</td><td>1,115</td><td>1,139</td></tr> <tr> <td>一人当たり外来単価 (単位：円)</td><td>16,990</td><td>17,575</td><td>18,207</td></tr> </tbody> </table>	項目＼年度	H28	H29	H30	一日当たり外来患者数 (単位：人)	1,119	1,115	1,139	一人当たり外来単価 (単位：円)	16,990	17,575	18,207	<p>3 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 年齢別・地域別患者動向の検証を通じ、高齢化に伴う状況把握に努めた。また、近隣医療機関との連絡会議等を通じて、関係の強化、動向把握に努めた。 平成 30 年度診療報酬改定にあたり、各種説明会への参加等により、中央社会保険医療協議会での検討状況等の早期把握に努め、診療報酬委員会等で情報提供を行うと同時に、関係部署と連携を図り、新設項目の早期算定を実現した。(急性期一般入院料 1、抗菌薬適正使用支援加算、後発薬品使用体制加算 1、ペースメーカー移植術（リードレスペースメーカーの場合）、提出データ評価加算、医療安全対策地域連携加算等々) 																																			
項目＼年度	H28	H29	H30																																															
一日当たり外来患者数 (単位：人)	1,119	1,115	1,139																																															
一人当たり外来単価 (単位：円)	16,990	17,575	18,207																																															

項目No.	中期計画の取組項目	H30 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																				
25	※ 費用の削減 1 在庫管理の徹底などによる費用の節減 2 有効性・安全性に考慮した後発医薬品の採用	<p>1 在庫管理の徹底などによる費用の節減</p> <ul style="list-style-type: none"> SPD運用管理業務を活用し、診療材料の院内在庫の抑制に努めた。 診療材料のベンチマークシステムや医療コンサルタントを活用し、医薬品及び診療材料にかかる費用の節減に努めた。 <p>※削減額（年間予定数量ベース）</p> <ul style="list-style-type: none"> 薬品費 : 約8,000万円 診療材料費 : 約1,300万円 <p>【医業収益に対する材料費比率】 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td><td>15.62</td><td>16.10</td><td>15.91</td><td>16.11</td></tr> <tr> <td>診療材料費</td><td>10.12</td><td>9.73</td><td>10.34</td><td>11.09</td></tr> <tr> <td>材料費全体</td><td>26.03</td><td>26.39</td><td>26.32</td><td>27.26</td></tr> </tbody> </table> <p>【薬品費及び診療材料費】 単位：千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分＼年度</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td><td>2,619,397</td><td>2,689,702</td><td>2,812,655</td></tr> <tr> <td>診療材料費</td><td>1,582,848</td><td>1,747,406</td><td>1,935,321</td></tr> </tbody> </table>	区分＼年度	H27	H28	H29	H30	薬品費	15.62	16.10	15.91	16.11	診療材料費	10.12	9.73	10.34	11.09	材料費全体	26.03	26.39	26.32	27.26	区分＼年度	H28	H29	H30	薬品費	2,619,397	2,689,702	2,812,655	診療材料費	1,582,848	1,747,406	1,935,321	<p>2 有効性・安全性に考慮した後発医薬品の採用</p> <ul style="list-style-type: none"> 医薬品納入業者に採用薬品に対する後発医薬品の提案を求め、実質的な薬品費削減効果も考慮しながら、薬剤部主導で後発品の切り替え等を行った。 <p>【後発医薬品（ジェネリック）の使用比率】 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目ベース</td><td>69.90</td><td>70.56</td><td>72.60</td><td>70.91</td></tr> <tr> <td>数量ベース</td><td>82.44</td><td>89.55</td><td>93.05</td><td>88.11</td></tr> <tr> <td>金額ベース</td><td>35.70</td><td>38.04</td><td>34.60</td><td>38.85</td></tr> </tbody> </table> <p>※使用比率は後発医薬品がある中での割合</p>	区分＼年度	H27	H28	H29	H30	品目ベース	69.90	70.56	72.60	70.91	数量ベース	82.44	89.55	93.05	88.11	金額ベース	35.70	38.04	34.60	38.85	III	ベンチマーク等による分析、医療コンサルタントの活用による材料費の節減等、継続的な取組が実施できているが、項目全体としては平年並みの実績と評価
区分＼年度	H27	H28	H29	H30																																																					
薬品費	15.62	16.10	15.91	16.11																																																					
診療材料費	10.12	9.73	10.34	11.09																																																					
材料費全体	26.03	26.39	26.32	27.26																																																					
区分＼年度	H28	H29	H30																																																						
薬品費	2,619,397	2,689,702	2,812,655																																																						
診療材料費	1,582,848	1,747,406	1,935,321																																																						
区分＼年度	H27	H28	H29	H30																																																					
品目ベース	69.90	70.56	72.60	70.91																																																					
数量ベース	82.44	89.55	93.05	88.11																																																					
金額ベース	35.70	38.04	34.60	38.85																																																					

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画

中期目標	<p>※ 経常収支比率 業務運営の改善及び効率化を効果的に進めることで、経常収支比率100%以上を達成すること。</p> <p>※ 職員給与費対医業収益比率 職員給与費対医業収益比率については、同規模の全国自治体病院のうち黒字病院であるものの当該比率の平均値を参考に、中期計画にその目標を定め、中期目標期間の最終年度までに達成すること。</p>																																																																																											
項目No.	<p>中期計画の取組項目</p> <p>H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況</p> <p>その他の主な取組／課題及びその改善策(●)</p> <p>自己評価</p> <p>自己評価理由</p>																																																																																											
26	<p>「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を効果的に進めるなどして、経常収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率を50%以下とすることを目指す。</p> <p>【経常収支比率・職員給与費対医業収益比率】 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支</td><td>100.5</td><td>100.7</td><td>102.0</td><td>100.2</td></tr> <tr> <td>職員給与費</td><td>51.5</td><td>51.7</td><td>51.0</td><td>52.5</td></tr> </tbody> </table> <p>1 予算 (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td><td></td></tr> <tr> <td> 営業収益</td><td>18, 179</td></tr> <tr> <td> 医業収益</td><td>17, 055</td></tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td><td>1, 057</td></tr> <tr> <td> その他営業収益</td><td>67</td></tr> <tr> <td> 営業外収益</td><td>136</td></tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td><td>36</td></tr> <tr> <td> その他営業外収益</td><td>100</td></tr> <tr> <td> 資本収入</td><td>474</td></tr> <tr> <td> 長期借入金</td><td>92</td></tr> <tr> <td> 運営費負担金</td><td>367</td></tr> <tr> <td> その他資本収入</td><td>15</td></tr> <tr> <td> その他の収入</td><td>0</td></tr> <tr> <td> 計</td><td>18, 789</td></tr> <tr> <td>支出</td><td></td></tr> <tr> <td> 営業費用</td><td>16, 515</td></tr> <tr> <td> 医業費用</td><td>15, 971</td></tr> <tr> <td> 給与費</td><td>8, 605</td></tr> </tbody> </table> <p>1 決算 (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td><td></td></tr> <tr> <td> 営業収益</td><td>19, 903</td></tr> <tr> <td> 医業収益</td><td>18, 646</td></tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td><td>1, 169</td></tr> <tr> <td> その他営業収益</td><td>88</td></tr> <tr> <td> 営業外収益</td><td>115</td></tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td><td>16</td></tr> <tr> <td> その他営業外収益</td><td>9.9</td></tr> <tr> <td> 資本収入</td><td>527</td></tr> <tr> <td> 長期借入金</td><td>149</td></tr> <tr> <td> 運営費負担金</td><td>365</td></tr> <tr> <td> その他資本収入</td><td>13</td></tr> <tr> <td> その他の収入</td><td>19</td></tr> <tr> <td> 計</td><td>20, 564</td></tr> <tr> <td>支出</td><td></td></tr> <tr> <td> 営業費用</td><td>17, 070</td></tr> <tr> <td> 医業費用</td><td>16, 563</td></tr> <tr> <td> 給与費</td><td>8, 486</td></tr> </tbody> </table>	区分＼年度	H27	H28	H29	H30	経常収支	100.5	100.7	102.0	100.2	職員給与費	51.5	51.7	51.0	52.5	区分	金額	収入		営業収益	18, 179	医業収益	17, 055	運営費負担金収益	1, 057	その他営業収益	67	営業外収益	136	運営費負担金収益	36	その他営業外収益	100	資本収入	474	長期借入金	92	運営費負担金	367	その他資本収入	15	その他の収入	0	計	18, 789	支出		営業費用	16, 515	医業費用	15, 971	給与費	8, 605	区分	金額	収入		営業収益	19, 903	医業収益	18, 646	運営費負担金収益	1, 169	その他営業収益	88	営業外収益	115	運営費負担金収益	16	その他営業外収益	9.9	資本収入	527	長期借入金	149	運営費負担金	365	その他資本収入	13	その他の収入	19	計	20, 564	支出		営業費用	17, 070	医業費用	16, 563	給与費	8, 486
区分＼年度	H27	H28	H29	H30																																																																																								
経常収支	100.5	100.7	102.0	100.2																																																																																								
職員給与費	51.5	51.7	51.0	52.5																																																																																								
区分	金額																																																																																											
収入																																																																																												
営業収益	18, 179																																																																																											
医業収益	17, 055																																																																																											
運営費負担金収益	1, 057																																																																																											
その他営業収益	67																																																																																											
営業外収益	136																																																																																											
運営費負担金収益	36																																																																																											
その他営業外収益	100																																																																																											
資本収入	474																																																																																											
長期借入金	92																																																																																											
運営費負担金	367																																																																																											
その他資本収入	15																																																																																											
その他の収入	0																																																																																											
計	18, 789																																																																																											
支出																																																																																												
営業費用	16, 515																																																																																											
医業費用	15, 971																																																																																											
給与費	8, 605																																																																																											
区分	金額																																																																																											
収入																																																																																												
営業収益	19, 903																																																																																											
医業収益	18, 646																																																																																											
運営費負担金収益	1, 169																																																																																											
その他営業収益	88																																																																																											
営業外収益	115																																																																																											
運営費負担金収益	16																																																																																											
その他営業外収益	9.9																																																																																											
資本収入	527																																																																																											
長期借入金	149																																																																																											
運営費負担金	365																																																																																											
その他資本収入	13																																																																																											
その他の収入	19																																																																																											
計	20, 564																																																																																											
支出																																																																																												
営業費用	17, 070																																																																																											
医業費用	16, 563																																																																																											
給与費	8, 486																																																																																											

項目 No.	中期計画の取組項目		H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況		その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
	材料費	4, 480	材料費	5, 144			
	経費	2, 818	経費	2, 874			
	研究研修費	68	研究研修費	59			
	一般管理費	544	一般管理費	507			
	給与費	364	給与費	354			
	経費	180	経費	153			
	営業外費用	96	営業外費用	95			
	資本支出	1, 694	資本支出	1, 492			
	建設改良費	1, 075	建設改良費	877			
	償還金	560	償還金	559			
	その他資本支出	59	その他資本支出	56			
	その他の支出	10	その他の支出	19			
	計	18, 315	計	18, 676			
	(注記 略)		(注記 略)				
	2 収支計画		2 収支計画に対する実績				
	(単位：百万円)		(単位：百万円)				
	区分	金額	区分	金額			
	収益の部	18, 291	収益の部	18, 854			
	営業収益	18, 154	営業収益	18, 690			
	医業収益	17, 025	医業収益	17, 456			
	運営費負担金収益	1, 057	運営費負担金収益	1, 140			
	資産見返負債戻入	6	資産見返負債戻入	6			
	その他営業収益	66	その他営業収益	88			
	営業外収益	137	営業外収益	135			
	運営費負担金収益	36	運営費負担金収益	33			
	その他営業外収益	101	その他営業外収益	102			
	臨時利益	0	臨時利益	29			
	費用の部	18, 091	費用の部	18, 829			
	営業費用	17, 502	営業費用	18, 054			
	医業費用	16, 944	医業費用	17, 499			
	給与費	8, 633	給与費	8, 785			
	材料費	4, 425	材料費	4, 758			
	経費	2, 642	経費	2, 673			
	減価償却費	1, 180	減価償却費	1, 231			
	研究研修費	64	研究研修費	52			
	一般管理費	558	一般管理費	555			
	給与費	364	給与費	386			
	減価償却費	27	減価償却費	24			
	経費	167	経費	145			
	営業外費用	579	営業外費用	735			

項目 No.	中期計画の取組項目	H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																																									
	<table border="1"> <tr><td>臨時損失</td><td>0</td></tr> <tr><td>予備費</td><td>10</td></tr> <tr><td>純利益</td><td>200</td></tr> <tr><td>目的積立金取崩額</td><td>0</td></tr> <tr><td>総利益</td><td>200</td></tr> </table> <p>(注記 略)</p>	臨時損失	0	予備費	10	純利益	200	目的積立金取崩額	0	総利益	200	<table border="1"> <tr><td>臨時損失</td><td>40</td></tr> <tr><td>予備費</td><td>0</td></tr> <tr><td>純利益</td><td>25</td></tr> <tr><td>目的積立金取崩額</td><td>0</td></tr> <tr><td>総利益</td><td>25</td></tr> </table> <p>(注記 略)</p>	臨時損失	40	予備費	0	純利益	25	目的積立金取崩額	0	総利益	25																																																																																								
臨時損失	0																																																																																																													
予備費	10																																																																																																													
純利益	200																																																																																																													
目的積立金取崩額	0																																																																																																													
総利益	200																																																																																																													
臨時損失	40																																																																																																													
予備費	0																																																																																																													
純利益	25																																																																																																													
目的積立金取崩額	0																																																																																																													
総利益	25																																																																																																													
	<p>3 資金計画</p> <p>(単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>区分</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>資金収入</td><td>28, 561</td></tr> <tr><td>業務活動による収入</td><td>18, 315</td></tr> <tr><td>診療業務による収入</td><td>17, 055</td></tr> <tr><td>運営費負担金による収入</td><td>1, 093</td></tr> <tr><td>その他の業務活動による収入</td><td>167</td></tr> <tr><td>投資活動による収入</td><td>60</td></tr> <tr><td>運営費負担金による収入</td><td>45</td></tr> <tr><td>その他の投資活動による収入</td><td>15</td></tr> <tr><td>財務活動による収入</td><td>414</td></tr> <tr><td>長期借入による収入</td><td>92</td></tr> <tr><td>その他の財務活動による収入</td><td>322</td></tr> <tr><td>前事業年度からの繰越金</td><td>9, 772</td></tr> <tr><td>資金支出</td><td>28, 561</td></tr> <tr><td>業務活動による支出</td><td>16, 611</td></tr> <tr><td>給与費支出</td><td>8, 969</td></tr> <tr><td>材料費支出</td><td>4, 480</td></tr> <tr><td>その他の業務活動による支出</td><td>3, 162</td></tr> <tr><td>投資活動による支出</td><td>1, 133</td></tr> <tr><td>有形固定資産の取得による支出</td><td>1, 075</td></tr> <tr><td>その他の投資活動による支出</td><td>58</td></tr> <tr><td>財務活動による支出</td><td>559</td></tr> <tr><td>長期借入金の返済による支出</td><td>236</td></tr> <tr><td>移前地方債償還債務による支出</td><td>323</td></tr> <tr><td>その他財務活動による支出</td><td>0</td></tr> <tr><td>翌事業年度への繰越金</td><td>10, 258</td></tr> </tbody> </table> <p>(注記 略)</p>	区分	金額	資金収入	28, 561	業務活動による収入	18, 315	診療業務による収入	17, 055	運営費負担金による収入	1, 093	その他の業務活動による収入	167	投資活動による収入	60	運営費負担金による収入	45	その他の投資活動による収入	15	財務活動による収入	414	長期借入による収入	92	その他の財務活動による収入	322	前事業年度からの繰越金	9, 772	資金支出	28, 561	業務活動による支出	16, 611	給与費支出	8, 969	材料費支出	4, 480	その他の業務活動による支出	3, 162	投資活動による支出	1, 133	有形固定資産の取得による支出	1, 075	その他の投資活動による支出	58	財務活動による支出	559	長期借入金の返済による支出	236	移前地方債償還債務による支出	323	その他財務活動による支出	0	翌事業年度への繰越金	10, 258	<p>3 資金計画に対する実績</p> <p>(単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>区分</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>資金収入</td><td>28, 973</td></tr> <tr><td>業務活動による収入</td><td>18, 920</td></tr> <tr><td>診療業務による収入</td><td>17, 388</td></tr> <tr><td>運営費負担金による収入</td><td>1, 174</td></tr> <tr><td>その他の業務活動による収入</td><td>358</td></tr> <tr><td>投資活動による収入</td><td>47</td></tr> <tr><td>運営費負担金による収入</td><td>43</td></tr> <tr><td>その他の投資活動による収入</td><td>4</td></tr> <tr><td>財務活動による収入</td><td>470</td></tr> <tr><td>長期借入による収入</td><td>148</td></tr> <tr><td>その他の財務活動による収入</td><td>322</td></tr> <tr><td>前事業年度からの繰越金</td><td>9, 536</td></tr> <tr><td>資金支出</td><td>28, 973</td></tr> <tr><td>業務活動による支出</td><td>17, 652</td></tr> <tr><td>給与費支出</td><td>7, 397</td></tr> <tr><td>材料費支出</td><td>5, 122</td></tr> <tr><td>その他の業務活動による支出</td><td>5, 133</td></tr> <tr><td>投資活動による支出</td><td>584</td></tr> <tr><td>有形固定資産の取得による支出</td><td>529</td></tr> <tr><td>その他の投資活動による支出</td><td>55</td></tr> <tr><td>財務活動による支出</td><td>558</td></tr> <tr><td>長期借入金の返済による支出</td><td>235</td></tr> <tr><td>移前地方債償還債務による支出</td><td>323</td></tr> <tr><td>その他財務活動による支出</td><td>0</td></tr> <tr><td>翌事業年度への繰越金</td><td>10, 179</td></tr> </tbody> </table> <p>(注記 略)</p>	区分	金額	資金収入	28, 973	業務活動による収入	18, 920	診療業務による収入	17, 388	運営費負担金による収入	1, 174	その他の業務活動による収入	358	投資活動による収入	47	運営費負担金による収入	43	その他の投資活動による収入	4	財務活動による収入	470	長期借入による収入	148	その他の財務活動による収入	322	前事業年度からの繰越金	9, 536	資金支出	28, 973	業務活動による支出	17, 652	給与費支出	7, 397	材料費支出	5, 122	その他の業務活動による支出	5, 133	投資活動による支出	584	有形固定資産の取得による支出	529	その他の投資活動による支出	55	財務活動による支出	558	長期借入金の返済による支出	235	移前地方債償還債務による支出	323	その他財務活動による支出	0	翌事業年度への繰越金	10, 179				
区分	金額																																																																																																													
資金収入	28, 561																																																																																																													
業務活動による収入	18, 315																																																																																																													
診療業務による収入	17, 055																																																																																																													
運営費負担金による収入	1, 093																																																																																																													
その他の業務活動による収入	167																																																																																																													
投資活動による収入	60																																																																																																													
運営費負担金による収入	45																																																																																																													
その他の投資活動による収入	15																																																																																																													
財務活動による収入	414																																																																																																													
長期借入による収入	92																																																																																																													
その他の財務活動による収入	322																																																																																																													
前事業年度からの繰越金	9, 772																																																																																																													
資金支出	28, 561																																																																																																													
業務活動による支出	16, 611																																																																																																													
給与費支出	8, 969																																																																																																													
材料費支出	4, 480																																																																																																													
その他の業務活動による支出	3, 162																																																																																																													
投資活動による支出	1, 133																																																																																																													
有形固定資産の取得による支出	1, 075																																																																																																													
その他の投資活動による支出	58																																																																																																													
財務活動による支出	559																																																																																																													
長期借入金の返済による支出	236																																																																																																													
移前地方債償還債務による支出	323																																																																																																													
その他財務活動による支出	0																																																																																																													
翌事業年度への繰越金	10, 258																																																																																																													
区分	金額																																																																																																													
資金収入	28, 973																																																																																																													
業務活動による収入	18, 920																																																																																																													
診療業務による収入	17, 388																																																																																																													
運営費負担金による収入	1, 174																																																																																																													
その他の業務活動による収入	358																																																																																																													
投資活動による収入	47																																																																																																													
運営費負担金による収入	43																																																																																																													
その他の投資活動による収入	4																																																																																																													
財務活動による収入	470																																																																																																													
長期借入による収入	148																																																																																																													
その他の財務活動による収入	322																																																																																																													
前事業年度からの繰越金	9, 536																																																																																																													
資金支出	28, 973																																																																																																													
業務活動による支出	17, 652																																																																																																													
給与費支出	7, 397																																																																																																													
材料費支出	5, 122																																																																																																													
その他の業務活動による支出	5, 133																																																																																																													
投資活動による支出	584																																																																																																													
有形固定資産の取得による支出	529																																																																																																													
その他の投資活動による支出	55																																																																																																													
財務活動による支出	558																																																																																																													
長期借入金の返済による支出	235																																																																																																													
移前地方債償還債務による支出	323																																																																																																													
その他財務活動による支出	0																																																																																																													
翌事業年度への繰越金	10, 179																																																																																																													

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

4 短期借入金の限度額

項目No.	中期計画の取組項目	H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
一	※ 短期借入金の限度額 1 限度額 2 想定される短期借入金の発生理由		1 限度額 ・ 10億円 2 想定される短期借入金の発生理由 ・ 実績なし	—	

5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画

項目No.	中期計画の取組項目	H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
一	※ 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画		・該当なし	—	

6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画

項目No.	中期計画の取組項目	H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
一	※ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画		・該当なし	—	

7 剰余金の使途

項目No.	中期計画の取組項目	H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
一	※ 剰余金の使途		・該当なし	一	

8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

中期目標	8-1 職員の就労環境の向上	職員の実情等を考慮した柔軟な勤務形態の導入、院内保育施設等の整備・拡充といった育児支援体制の充実など、日常業務の質の向上を図るために必要な職員の就労環境の整備に努めること。 さらに、地方独立行政法人制度の特徴を十分に生かし、医療従事者を必要数確保することによって、病院職員全体の勤務環境を改善すること。
	8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携	人事交流など、岐阜県及び岐阜県の設立した他の地方独立行政法人との連携を推進すること。
	8-3 施設・医療機器の整備	病棟などの施設整備や医療機器整備については、県民の医療需要、費用対効果、医療技術の進展などを総合的に勘案して計画的に実施すること。
	8-4 法人が負担する債務の償還に関する事項	法人は、岐阜県に対して負担する地方独立行政法人法第86条第1項に規定する債務の処理を確実に行うこと。

項目No.	中期計画の取組項目	H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																														
27	※ 職員の就労環境の向上 1 職員の就労環境の整備 2 職員の健康管理対策の充実 3 院内保育施設の充実	3 院内保育施設の充実 <ul style="list-style-type: none"> 新保育所の建設を進め、予定通りに完成することができた。平成31年3月18日から新保育施設での保育事業を開始した。 移転新築にあたっては、施設の定員を45名から60名に増員するとともに、企業主導型保育事業の院内保育施設として、企業主導型保育事業費補助金（整備費及び運営費）の助成申請を行い、助成決定を受けた。 夜間保育、休日保育、病児保育について継続して実施した。 <p>【院内保育状況】 単位：人・日（各年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分＼年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所者数</td> <td>54</td> <td>52</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>夜間保育</td> <td>87</td> <td>103</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>対応曜日</td> <td>木曜日</td> <td>木曜日</td> <td>木曜日</td> </tr> <tr> <td>休日保育日数</td> <td>114</td> <td>102</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>病児保育利用（延人数）</td> <td>88</td> <td>75</td> <td>104</td> </tr> </tbody> </table>	区分＼年度	H28	H29	H30	入所者数	54	52	47	夜間保育	87	103	16	対応曜日	木曜日	木曜日	木曜日	休日保育日数	114	102	110	病児保育利用（延人数）	88	75	104	1 職員の就労環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> 年次休暇の取得について、各部門長により計画的な取得を推進するとともに、WL B（ワークライフバランス）休暇を新設し、周知及び取得促進を図った。 職員食堂においては、特別メニュー、イベントメニューを継続的に企画する等、職員の福利厚生の充実に努めた。 <p>【有給休暇取得率】 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分＼年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年次休暇</td> <td>27.5</td> <td>25.9</td> <td>25.5</td> </tr> <tr> <td>特別休暇（夏期休暇等）</td> <td>87.6</td> <td>83.9</td> <td>90.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>【育児部分休業及び育児短時間勤務利用者数】 単位：人（各年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分＼年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>27</td> <td>29</td> <td>35</td> <td>32</td> </tr> </tbody> </table>	区分＼年度	H28	H29	H30	年次休暇	27.5	25.9	25.5	特別休暇（夏期休暇等）	87.6	83.9	90.4	区分＼年度	H27	H28	H29	H30	利用者数	27	29	35	32	IV	院内保育施設の新築移転整備が完了するなど、職員の就労環境の向上に向けた取組を評価
区分＼年度	H28	H29	H30																																																
入所者数	54	52	47																																																
夜間保育	87	103	16																																																
対応曜日	木曜日	木曜日	木曜日																																																
休日保育日数	114	102	110																																																
病児保育利用（延人数）	88	75	104																																																
区分＼年度	H28	H29	H30																																																
年次休暇	27.5	25.9	25.5																																																
特別休暇（夏期休暇等）	87.6	83.9	90.4																																																
区分＼年度	H27	H28	H29	H30																																															
利用者数	27	29	35	32																																															

項目No.	中期計画の取組項目	H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																				
			<p>【医師・看護師事務作業補助者数】 単位：人（各年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師事務作業補助者 (医療クラーク)</td><td>43</td><td>37</td><td>37</td><td>38</td></tr> <tr> <td>病棟事務補助者 (看護クラーク)</td><td>12</td><td>11</td><td>16</td><td>16</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>55</td><td>48</td><td>53</td><td>54</td></tr> </tbody> </table> <p>2 職員の健康管理対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規採用者のオリエンテーション時に精神科部長を講師として、メンタルヘルスについての研修を行った。また、管理職、課長補佐級、チーフ級職員を対象にメンタルヘルス講習会を実施した。 前期定期健康診断とあわせて「ストレスチェック」を実施した。また、定期健康診断や人間ドックの確実な受診を促し、要精密検査等の指示のあった職員に対するフォローアップも行う等、健康管理対策の充実に努めた。 <p>【メンタルヘルスケア相談件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9</td><td>10</td><td>15</td><td>13</td></tr> </tbody> </table> <p>【メンタルヘルス講習会参加者数】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>88</td><td>78</td><td>92</td><td>117</td></tr> </tbody> </table>	区分＼年度	H27	H28	H29	H30	医師事務作業補助者 (医療クラーク)	43	37	37	38	病棟事務補助者 (看護クラーク)	12	11	16	16	合 計	55	48	53	54	H27	H28	H29	H30	9	10	15	13	H27	H28	H29	H30	88	78	92	117		
区分＼年度	H27	H28	H29	H30																																					
医師事務作業補助者 (医療クラーク)	43	37	37	38																																					
病棟事務補助者 (看護クラーク)	12	11	16	16																																					
合 計	55	48	53	54																																					
H27	H28	H29	H30																																						
9	10	15	13																																						
H27	H28	H29	H30																																						
88	78	92	117																																						
28	※ 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項		<ul style="list-style-type: none"> 県が株富士通総研に事業委託し設立した岐阜県B C P研修・訓練センターの支援を得ながら診療継続計画書（B C P）を策定し、災害医療体制の充実を図った。 新中央診療棟整備事業について、県公共建築課と設計について助言・指導等を受ける工事事務委託契約を締結した。 	III	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価																																				
29	※ 施設・医療機器の整備に関する事項 1 医療機器の計画的な更新・整備 2 質の高い医療をするための新中央診療棟の整備	1 医療機器の計画的な更新・整備 <ul style="list-style-type: none"> 新中央診療棟開設に向けた医療機器の整備計画を基に、緊急度や収益性などを総合的に判断し、平成30年度中の整備が妥当であると判断された機器について更新を行った。 		IV	新中央診療棟整備に向け、関連事業も含め、着実に遂行できている。																																				

項目No.	中期計画の取組項目	H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																				
		<p style="text-align: center;">(単位：百万円)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>区分＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療機器等整備</td><td>526</td><td>246</td><td>177</td><td>183</td></tr> <tr> <td>施設等整備</td><td>318</td><td>370</td><td>38</td><td>306</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>844</td><td>616</td><td>215</td><td>489</td></tr> </tbody> </table> <p>2 質の高い医療をするための新中央診療棟の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 整備担当部門と選定した基本設計業務委託業者を中心に院内各部門ワーキンググループを定期的に開催し、具体的な検討を重ね、平成30年6月末に基本設計を策定した。引き続き実施設計策定を進めている。 ・ 立体駐車場整備については、民間資金を活用しBTO方式で整備することとし、15年間の保守管理委託を含めた契約を締結した。 ・ 医療総合情報システム再整備計画に基づき、既存病棟内LAN工事等のネットワーク機器の更新を行った。 ・ 医療総合情報システム（電子カルテ）の更新については、令和元（2019）年5月の稼働に向け、部門ヒアリングを基に新システムの仕様確認、運用確定等の作業を進めるとともに、稼働に向けた操作研修や外来全体リハーサル等も計画的に実施した。 	区分＼年度	H27	H28	H29	H30	医療機器等整備	526	246	177	183	施設等整備	318	370	38	306	合 計	844	616	215	489			
区分＼年度	H27	H28	H29	H30																					
医療機器等整備	526	246	177	183																					
施設等整備	318	370	38	306																					
合 計	844	616	215	489																					

項目No.	中期計画の取組項目	H30年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																												
30	※ 法人が負担する債務の償還に関する事項		<ul style="list-style-type: none"> 法人として岐阜県に対し負担する債務の償還を確實に行った。 <p>【企業債償還額（元本）】（単位：百万円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>償還月</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月</td> <td>278</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>280</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>558</td> </tr> </tbody> </table> <p>【債務の償還状況（合計）】（単位：百万円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1期中期計画期間計</td> <td>3,603</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>485</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>589</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>523</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>558</td> </tr> </tbody> </table> <p>(内訳)</p> <p>移行前地方債償還債務（単位：百万円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1期中期計画期間計</td> <td>3,211</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>297</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>307</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>316</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>323</td> </tr> </tbody> </table> <p>長期借入金償還額（単位：百万円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1期中期計画期間計</td> <td>392</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>188</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>282</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>207</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>235</td> </tr> </tbody> </table>	償還月	金額	9月	278	3月	280	計	558	年度	実績	第1期中期計画期間計	3,603	H27	485	H28	589	H29	523	H30	558	年度	実績	第1期中期計画期間計	3,211	H27	297	H28	307	H29	316	H30	323	年度	実績	第1期中期計画期間計	392	H27	188	H28	282	H29	207	H30	235	III	償還計画に則って償還できている。
償還月	金額																																																
9月	278																																																
3月	280																																																
計	558																																																
年度	実績																																																
第1期中期計画期間計	3,603																																																
H27	485																																																
H28	589																																																
H29	523																																																
H30	558																																																
年度	実績																																																
第1期中期計画期間計	3,211																																																
H27	297																																																
H28	307																																																
H29	316																																																
H30	323																																																
年度	実績																																																
第1期中期計画期間計	392																																																
H27	188																																																
H28	282																																																
H29	207																																																
H30	235																																																
31	※ 積立金の使途		<ul style="list-style-type: none"> 前期中期目標期間における積立金については、今後発生する病院施設の整備、医療機器の購入等に充てる。 	III	計画に則って資金留保できている。																																												

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

